

令和 8 年度当初予算(案) 事業等説明資料

一般会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
特別会計	・ 公営企業会計	・・・・・・・・・・・・・・・・ P 59

京都府 宮津市

充実 地域のミライを共に創る新しい関係人口づくり 令和8年度予算：54,511千円

地域に関心を持つ層を増やし、「地域の担い手」として地域のミライを共に創る取組み



地域に関心のある層の発掘 関係人口の創出・活用

主な事業

シティブロモーションの取組みによる情報発信【9,000千円】

○ ふるさと市民制度「MIYAZUTTO!」による「宮津ファンづくり」

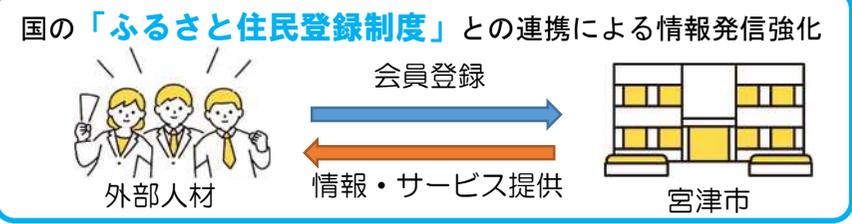


○ 市民共創型シティブロモーションの推進

- ・ 市民参加型ワークショップでのブランディング
- ・ 「市民ライター」「フォトコンテスト」等

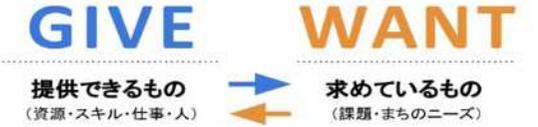


充 ふるさと納税等を活用した魅力発信（外部人材の活用）



充 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの充実【27,000千円】

○ 地域課題を把握し、外部人材等とのマッチング等を実施



○ 関係人口の地域参画を促すための参加型ツアー等の実施 ~ 地域づくりへの「はじめの一步」 ~



新 地域おこし協力隊増員による「共創」の創出【1,000千円】

○ 地域づくりを進めるため「地域おこし協力隊」を積極的に活用 (活動イメージ)

- ・ 「地域の担い手」として、地域活性化の取組を実践
- ・ 地域活動の過程で外部人材を巻き込み、「関係人口を共創者（継続的に関わる者）」へと育む仕組みをつくる

充実

「新しい暮らし」に向けた移住定住施策の充実 令和8年度予算：103,298千円

移住
ステップ

宮津を知る

すまいや仕事を見つける

宮津に相談する

いざ、移住

- 前尾記念カヌーセンターMIYAZU
 - ・外部と地域との交流の場づくり
 - ・移住体験ツアー
 - ・地域の魅力発信 など

充 移住・定住ポータルサイトの充実



国の「ふるさと住民登録制度」との連動による情報発信

- 新 空家を活用したすまい確保
 - ・空き家登録奨励金の創設
 - ・サブリース型賃貸住宅の構築

- 充 みやづ城東タウンリノベーション
 - ・若者向け住戸の環境整備

- 充 就職等の支援
 - ・オープンファクトリーによる企業情報発信
 - ・企業の人材確保活動への支援 など

- 移住コンシェルジュの運営
 - ・相談サポート、現地案内
 - ・情報発信など

- 安心して暮らせる仕組みづくり
 - ・移住前の地域顔合わせの実施
 - ・移住後の相談、交流会の実施

- 住宅支援制度 ※()内は上限額
 - ・結婚新生活支援(60万円)
 - ・子育て世帯リフォーム支援(100万円)
 - ・つつじが丘新築支援(200万円)
 - ・空き家改修支援(180万円)

充

○都市部からの移住支援金

- 奨学金返済支援
 - ・Uターン時返済不要な奨学金
 - ・企業による奨学金返済支援

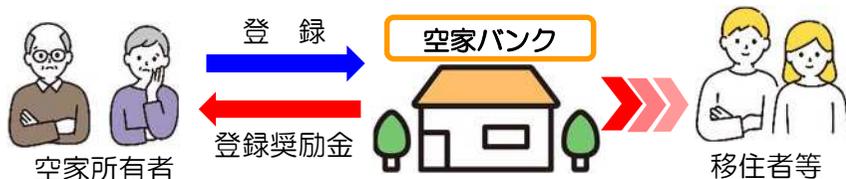
新規・充実事業等について

充 移住・定住ポータルサイトのリニューアル【2,000千円】

- **デザイン刷新**と**情報再構築**により、地域の魅力が伝わる移住・定住ポータルサイトへ改修

新 空き家を活用したすまい確保と普及【11,100千円】

- 空家バンクへの登録に向け「**登録奨励金(5万円/件)**」を創設し、空家活用によるすまい確保を加速



- 未利用の空家の利活用による「すまい確保」につなげるため、「サブリース方式」を活用した「子育て向け住宅」を構築



充 みやづ城東タウンの更なるリノベーション【22,856千円】

- 若者向けリノベーションを進めるとともに、**子育て世帯向けの乗り降りしやすい広い駐車区画**を新たに整備

充 就職等の支援の充実【19,000千円】

- **企業の魅力を体感できるオープンファクトリーを開催**し、移住希望者等に地域企業の魅力を発信し、就職活動につなげる



- 企業の人材確保に必要な**求人活動**や**社宅整備等**の労働環境整備支援を創設し、移住希望者の就職につなげる取組を推進
 - ・人材確保支援(求人、インターシップ等) **最大100万円**
 - ・社宅等整備支援 **最大100万円** など

充 つつじが丘団地新築支援の充実【2,000千円】

- つつじが丘団地新築支援を拡充し、支援対象を子育て世帯から「**全世帯**」に**拡大**し、多様な移住ニーズに対応

事業名	前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを中心とした「新たな人の流れの創出」(関係人口・魅力・移住創出事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	R4.4 : 「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結(関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住促進などを連携し協力して取り組むもの)		40,000	9,164	6,252			24,584		
	R4.5 : 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設 R5.4 : 都市部からの移住創出に向けた移住支援金の創設 R7.4 : 引き続き株式会社FoundingBaseによる5年間(R7.4~R12.3)の指定管理の開始		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
目的・目標	「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、関係人口づくりから移住定住に至るまでのフローを一本化するとともに、本市の魅力を発信することにより、関係人口から移住定住に向けた新たな人の流れを創出し、「選ばれるまち」づくりを推進する。		30,000	国	地域未来交付金			9,164		
			(参考)前々年度決算額	府	地方創生移住支援事業費補助金			1,500		
			府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金			1,666			
			31,106	府	きょうと地域連携交付金			3,086		
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<p>■ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点にした関係人口創出等 29,000千円</p> <p>○ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営 27,000千円</p> <p>都市と地域の「交流の場づくり」や「関わりしるの創出」などを展開し、関係人口創出に向けた取組を進め、地域の担い手確保や移住定住等につなげるもの</p> <p>【R8の重点的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題等を把握し、外部人材等とのマッチング等を行う取組 (GIVE & WANT) を進め、関係人口を「地域の担い手」につなげる取組を推進 <p>○ 都市部からの移住創出に向けた支援 2,000千円</p> <p>■ 関係人口づくり等に向けた情報発信力の強化 10,000千円</p> <p>○ 移住・定住ポータルサイトのリニューアル 【充実】2,000千円</p> <p>関係人口創出や移住定住に向け、宮津の魅力や暮らしに関する情報発信を強化するため、「移住・定住ポータルサイト」をリニューアルするもの</p> <p>○ ふるさと納税等を活用した魅力発信等<外部人材の活用> 【新規】8,000千円</p> <p>関係人口創出に向けた外部との接点の拡大に向け、地域産品の開発やPRの強化等を行うもの</p> <p>■ 地域おこし協力隊増員による「地域との共創」の推進【新規】 1,000千円</p> <p>○ 地域おこし協力隊の募集等に要する経費 1,000千円</p> <p>様々な地域課題に市や地域と連携し取り組む人材の確保に向け、地域おこし協力隊の募集を強化するもの</p>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R3	第2期宮津市空家空地対策計画			R4~R13			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 ・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題等の解決や共創の取組件数 R6 - → R12 100件 ・地域課題等の解決や共創のまちづくりに取り組む地域内外の人材、事業者数等 R6 132人 → R12 500人 ・移住者数 R6 32人 → R12 70人 ・人口 R6 13,629人(R12社人研推計) → R12 13,922人 						
			担当部署	企画財政部移住定住・魅力発信課 移住定住促進係、魅力発信係 企画課企画政策係			45-1689 45-1664		11	



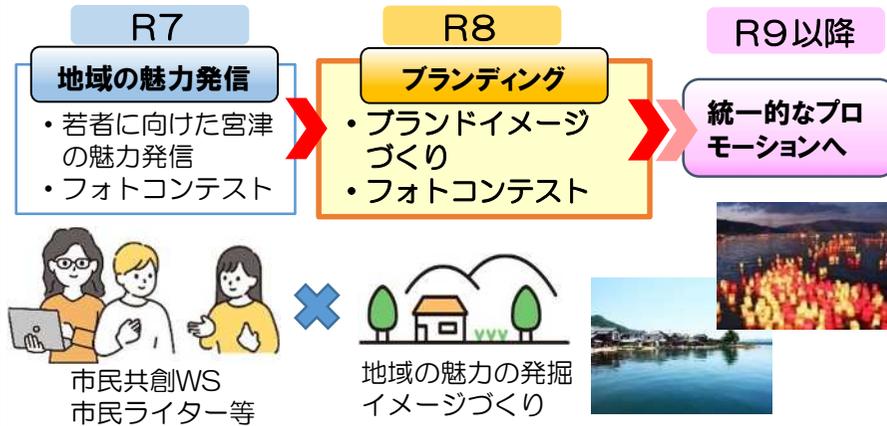
事業名	シティプロモーションの推進に向けて (関係人口・魅力・移住創出事業、広報活動事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	R05 関係人口創出に向けた情報発信の強化 委託型地おこ (FB社) 公式LINEセグメント運用の開始		14,511		806		2,278	11,427		
	R06 広報誌カラー化・外部委託開始 市民共創型フォトコンテスト/ポスターワークショップ開催		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
	R07 公式LINEセグメントふるさと市民制度「MIYAZUTTO！」運用開始		13,205	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金			806		
	R07 市民共創型フォトコンテスト/ブランディングワークショップ開催		(参考)前々年度決算額	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金			1,000		
	市民ライター、子ども広報誌開始		10,721	諸	印刷物等有料広告料ほか			1,080		
目的・目標	関係人口創出や移住定住に向けた「新しい人の流れの創出」を進めるため、宮津市の地域ブランディングやシティプロモーションを強化し、選ばれるまちづくりにつながるもの。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト							
		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり							
事業概要	■市民共創型シティプロモーション事業の展開 1,920千円 市民と協働するシティプロモーションを進めることで、本市の魅力発掘やコンテンツ作り、郷土愛の醸成を図るとともに、市民主体の「暮らしの魅力発信」を推進する。 ○「様々な分野から見る宮津の魅力」トークショーの開催【新規】 小説や芸術、スポーツ分野など様々な分野の著名人が宮津の魅力を語る ○市民共創型「みやづブランディング」ワークショップの開催 市民参加型のワークショップによる市のブランドイメージづくり ○市民共創型「フォトコンテスト」の実施 宮津の暮らしをテーマにしたフォトコンテストの実施、市民による地域の魅力発信 ○市民ライターの活用・キッズ広報誌の発行 より親しみやすく身近な情報発信を行うため、市民ライターによる記事の掲載、子ども達の取材・制作によるキッズ広報誌の発行 ■わかりやすい戦略的な広報の実施 12,591千円 主要施策について戦略的な広報発信を行うとともに、動画による発信やSNSの活用など「伝わる広報」に向けた情報発信力を強化する。 ○広報みやづ等の充実 広報誌のカラー化、外部委託化、コンテンツの充実、職員研修の実施 ○動画をはじめとするSNS発信の強化【新規】 広報誌と連動した動画配信、SNS分析による訴求力向上、宮津ふるさと市民制度「MIYAZUTTO！」の運用 ○マスコットキャラクターの活用【新規】 ※クラウドファンディングの活用 着ぐるみリニューアル、ぬいぐるみ・二次元コンテンツ制作ほか	施策分野	シティプロモーション							
		【宮津市総合計画以外の計画】								
		期待される効果等	・市政情報の発信を通じた市民の市政参画意識の醸成 ・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 ・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み 【第7次宮津市総合計画分野別数値目標】 ・宮津に愛着・誇りをもっている割合 R7:76% → R12:81%							
		担当部署	企画財政部 移住定住・魅力発信課 魅力発信係						45-1609	12



市民と協働したシティプロモーション

充 市民共創によるブランドイメージづくり・情報発信の仕組みづくり【920千円】

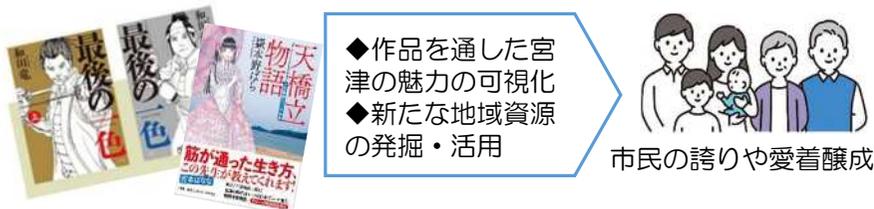
- 市民参加型のワークショップ等による「宮津のブランドイメージづくり」や「フォトコンテスト」等の取組みにより、市民と共創した魅力発信を推進



- 身近な暮らしの話題を発信する「市民ライター」の活用
- 子ども目線で地域の魅力を発信する「キッズ広報誌」発行

新 様々な分野から見る魅力の可視化・再発見【1,000千円】

- 市にゆかりのある著名人による「宮津の魅力トークショー」を開催し、作品や物語を通して語られる宮津の魅力を可視化（文学・歴史・マンガ・スポーツ・芸術など）



わかりやすい戦略的な広報の実施

充 市の情報発信力の強化【12,591千円】

- 市の広報発信力を強化するため、広報みやづ等のコンテンツの充実や動画を活用したSNSの強化等を実施
- シティプロモーションの効果を可視化し、効果的な広報につなげるため、広報の効果測定の実施



新 マスコットキャラクターの活用 ※クラウドファンディングの活用

- ガバメントクラウドファンディングを活用し、幅広い世代に訴求できるマスコットキャラクター「なみちゃん」の着ぐるみリニューアルやSNS等で人気のぬいぐるみ・二次元コンテンツの制作などプロモーションに積極活用



事業名	定住・空き家対策推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・H23.9：みやづUIターンサポートセンターを設置 ・H27.4：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置（移住定住部会で連携） ・H29.8：宮津市空家空地対策協議会を設置 ※京都府の移住促進特別区域の指定済地区：宮津・上宮津・栗田・由良・吉津・府中世屋・養老・日ヶ谷（未指定：日置）		43,642	8,038	9,050	6,400	10,225	9,929
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	移住希望者等の住環境確保への支援を充実させるとともに、京都府の移住に関する条例に基づく移住促進特別区域の市全域指定を目指し、移住者の受入体制の強化など、地域と一体となった移住定住支援を推進する。 また、第2期宮津市空家空地対策計画に掲げる「地域とともに空家空地を活かす」を基本方針に、地域や関係機関と連携し、総合的な空家等対策を推進する。		30,217	国	地域未来交付金			5,490
			(参考)前々年度決算額	国	地域少子化対策重点推進交付金			2,548
			15,206	府	移住促進事業費補助金			7,450
			府	子育ておうえん住宅支援事業費補助金ほか			1,600	
			市債	過疎対策事業債			6,400	
			繰入	子ども若者未来応援基金繰入金ほか			10,225	
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事業概要	■ ライフステージに合わせた住まい確保支援 12,875千円 ○ 結婚世帯へのすまい確保支援 3,822千円 ○ 子育て世帯へのすまいリフォーム支援(R7~R8 2か年支援) 6,000千円 ○ つつじが丘団地新築支援【充実】 2,000千円 (充実内容) 対象者を全世帯に拡大(子育て世帯要件を撤廃) ○ 旧タケ丘団地跡地の売却促進に向けた準備【新規】 1,053千円 (実施内容) 測量、鑑定評価等の実施 ■ 空き家を活用した住まい確保支援 25,500千円 ○ 空き家バンク物件登録奨励金制度の創設【新規】 2,500千円 (内容) 空き家バンクへの登録時に「登録奨励金」を交付(5万円/件) ○ 空き家バンク物件を対象とした定住のための空家改修補助金 14,400千円 ○ 「サブリース方式」による「子育て世帯向け住宅」の構築【新規】 8,600千円 (概要) 未利用空家の利活用を進めるため、サブリース(転貸)方式で改修活用し、子育て世帯の多様な住宅ニーズに応える戸建て賃貸を提供  ■ 地域と連携した移住者受入体制づくりの推進 518千円 ○ 移住特区が取り組む移住者受入体制支援、みやづ暮らしナビゲーター研修会等 ■ 管理不全空家等の対策、空き家バンクの運営等 4,749千円		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	移住・定住促進				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			R3	第2期宮津市空家空地対策計画	R4~R13			
			期待される効果等	・住環境の確保支援による移住・定住者の増加 ・地域(自治会、地域会議)等との連携した空家等の掘り起こしによる活用可能な空家の確保 ・京都府の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組の推進 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・人口 R6 13,629人(R12社人研推計) → R12 13,922人 ・宮津に住み続けたい人の割合 R6 69% → R12 80% ・移住者数 R6 32人 → R12 70人 ・空き家バンク新規登録件数 R6 19件 → 40件 ・空き家バンク物件活用件数 R6 7件 → 30件				
担当部署	企画財政部移住定住・魅力発信課 移住定住促進係 建設部都市住宅課建築住宅係		45-1689	13				
			45-1631					

事業名	みやづ城東タウンリノベーション事業 (定住促進住宅整備事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景経緯	<ul style="list-style-type: none"> S63~H18:関西電力(宮津エネルギー研究所)社宅 H19.4:関西電力(株)から建物(定住促進住宅用家屋)を寄付受納 H19.4:関西電力(株)と一般定期借地権設定契約を締結(借地権50年間 ~R39.3末) H19.5:市営住宅(52戸規模)として入居開始 R04~:リノベーション事業の実施(R4~R7 27戸) R05~:事業者への社宅貸付(4階空き住戸の活用 12戸) 		22,856		3,800	16,800	2,256	0		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			35,616	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		3,800			
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債		16,800			
目的目標	みやづ城東タウンのリノベーションにより、移住・定住促進を目的とした住環境や子育て環境を整えることで、「若者が住みやすい、選ばれるまちづくり」を推進する。		31,065	使手	市営住宅使用料		2,256			
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<p>■リノベーションによる若者定住促進 22,856千円</p> <p>[住戸リノベーション] 11,356千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戸数 2戸 ○内容 住戸改修 <ul style="list-style-type: none"> ・間取りの変更(3DK→1LDK) ・設備更新等 ○入居条件 40歳未満の方(単身者も入居可能) ○家賃 52,000円/月 ※駐車区画1台込み、屋外倉庫付き ○入居時期 令和9年2月予定。  <p>[駐車場整備] 11,500千円</p> <p>子育て世帯向けに、ベビーカーや荷物の出し入れがしやすく、乗り降りしやすい駐車区画を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容 既存広場の遊具・樹木等を撤去 駐車場整備(8区画新設) ○区画の大きさ 幅3.0m×長さ6.0m (※既存区画は幅2.3m×長さ5.0m) 		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	移住・定住促進						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R元	宮津市公営住宅等長寿命化計画					R元~R10	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションによる住環境の充実と移住・定住の促進 ・子育て環境の充実 ・入居率の向上による増収 						
			担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係			45-1631	14		

事業名	持続可能な企業活動支援事業	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	・H28 : 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会主催で合同就職面接会実施 ・H29～R7 : 同協議会において合同企業説明会実施 ・R3.12 : 京都労働局と雇用対策協定の締結 ・R2からのコロナ禍における人材離れ等の影響を受け人手不足が顕著化 令和7年11月有効求人倍率 2.40倍 (全国1.18倍、京都府1.22倍)		19,414	18,807				607	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			1,687	国	地域未来交付金			307	
目的・目標	物価高騰等の影響を受け厳しい経営環境下にある市内事業者の人材確保や労働環境の改善、生産性向上の取り組みを支援するとともに、市と労働局の連携による総合的な雇用対策の取組や北部7市町の連携による合同企業説明会等を開催し、市内事業者の安定的な事業活動につなげるもの。		(参考)前々年度決算額	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)		18,500		
			347						
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
事業概要	■京都府北部地域連携都市圏推進協議会事業(協議会への負担金)等 714千円 ○京都府北部地域連携都市圏推進協議会への負担金【拡充】 314千円 就職フェアやアトツギベンチャー道場実施に伴う事業費を北部7市町で按分(均等割25%、人口割75%) ○京都労働局との連携事業【継続】 100千円 京都労働局との雇用対策協定に基づく合同企業説明会を開催 ○丹後一帯イベント型オープンファクトリー「NeoTAN」の開催【新規】 300千円 丹後地域の地場産業の魅力発信と地域活性化のためのオープンファクトリー「NeoTAN」への参加に伴う実行委員会への負担金 ■みやづ企業活動応援補助金の創設【新規】 18,700千円 市内企業の安定的な事業継続等に向けた人材確保や労働環境の改善、生産性向上等における取組に対する支援をメニュー化		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
			施策分野	移住・定住促進					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・企業活動支援による人材確保や生産性向上等の安定的な事業継続の実現 ・合同企業説明会を契機とした圏域内就職者数の増加 ・雇用の確保を通じた市内定住人口の増加 ・雇用のマッチングによる人材不足の解消 【第7次宮津市総合計画数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・転出超過数の減少 R7:8人/年 → R12:15人/年 ・事業所数 R3:1,137事業所 → R13:1,100事業所 ・労働生産性向上に取り組む事業所数 R3～R6:39件 → R6～R12:50件 						
									
担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663	18・69					

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	男女共同参画推進事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H11 : 「男女共同参画社会基本法」の公布・施行 ・H14 : 「宮津市男女共同参画基本計画～新ウインドプラン21～」の策定 ・H27 : 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」の公布・施行 ・H29.3 : 「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～」の策定 		3,391	1,000			1,400	991
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	<p>あらゆる分野で女性の活躍が増えるよう取組を進めるとともに、企業でのワーク・ライフ・バランスの向上や女性の所得向上・経済的自立によるL字カーブの解消、男性の家事・育児等への参加促進など男女共同参画・女性活躍推進の風土づくりを進める。 (地域女性活躍推進交付金の活用)</p>		1,739	国	地域女性活躍推進交付金			500
			(参考)前年度決算額	国	地域未来交付金			500
			繰入	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		400	
事業概要	<p>■宮津市男女共同参画審議会の開催(継続) 256千円 ・男女共同参画の推進に関する事項の意見聴取を行い施策に反映 ・次期「宮津市男女共同参画基本計画」の策定</p> <p>■女性活躍応援塾の開催(継続) 1,000千円 ・外部講師による講座(5回開催予定) ・活躍への意欲向上に向けた自己認知力の向上等 ・連続講座を通じた働く女性のネットワーク構築 ・事業所の経営者等へ情報提供</p> <p>■ワークイノベーションセミナーの開催(継続) 400千円 ・働きがいのある職場づくりに向けて企業向けセミナーを実施(2回開催予定)</p> <p>■女性が働きやすい職場環境づくり推進事業費補助金(仮称)の創設(新規) 1,000千円 ・職場環境の改善に取り組む事業所等へ補助金を交付 ・対象: 「京都モデル」WLB推進宣言事業所等 ・補助率: 1/2 (上限500千円)</p> <p>■その他事務費 735千円</p>		1,413	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			1,000
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	男女共同参画・女性活躍				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H28	宮津市男女共同参画基本計画				H29～R8
			R8	宮津市人権教育・啓発推進計画(第3次)				R8～R12
			期待される効果等	<p>○働きやすく働きがいのある魅力的な職場を目指す事業所の増加</p> <p>○受講者相互の女性ネットワークの形成</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業事業所数 R6:9事業所 → R12:12事業所</p>				
			担当部署	市民環境部 市民環境課 人権啓発係		22-4622	20	

～未来を担う子どものための宮津市保育・教育の充実に向けて～

サービス拡充期 (R4～)

課題抽出・指針策定 R7

市及び施設による実践 (R8～)

就学前施設の保育サービス 拡充・適正化研究会

目的：保育サービスの拡充や適正化に向けた施策の方向性を調査研究
成果：・使用済おむつの持ち帰り廃止
・おむつ等の無償提供サービスの実現



各施設の実態把握・ 課題抽出

顕在化した課題：

- ・保育室等の物的環境の整備
- ・玩具による子どもの発達理解不足
- ・人員配置・人材確保



就学前施設の質の向上 研修 (R2～)



目的：「物的環境整備」に重点を置いた保育・教育の質向上
成果：研修会（講演会）開催による知識の向上
テーマ「子ども主体の保育・教育に向けて」

- ◇施設訪問研修による物的環境の質向上
 - ・R4～5 亀ヶ丘、たんぼぼ、府中
 - ・R6～7 みずほ、吉津、吉津分園
- ◇施設訪問研修にかかる交流会（共通理解に向けて）
 - ・研修のまとめ
 - ・ワークショップと意見交流
- ◇保育環境維持・改善のためのフォロー研修
 - ・施設間の保育環境見学と意見交流

最重要課題

質の高い
保育士・教職員の
確保・育成

学識経験者による指導・助言を
いただきながら継続

保育・教育の充実に向けた行動指針
策定

骨子

「子どもの健やかな育ち」と
「若い世代から”選ばれるまち”の実現のために

【目指す取組・4つの柱】

1 保護者から信頼され、選ばれる環境づくり

- (1) 清潔で気持ちよく、安全で、安心して過ごせる環境（施設）
 - 施設の清潔感 ○保育環境の充実 ○園庭の環境整備
- (2) 遊具・玩具の充実
 - 発育・発達段階に応じた整備・見直し ○安全基準に沿った点検・更新
- (3) 職員の質の向上
 - 遊具・玩具に対する知識の向上・実践 ○不適切行為の防止 ○食に関する安全強化・発達促進
- (4) 保護者に対する適切な支援
 - 信頼関係の構築 ○家庭との連携 ○相談・援助 ○家庭環境への配慮
- (5) 安全のための仕組みづくり
 - 防犯・防災・安全対策の充実 ○事故・ヒヤリハット事例の共有と再発防止
 - 業務継続計画の策定
- (6) 情報公開・情報発信の充実
 - 保育・教育の方針等の公開 ○HPやSNSの活用 ○IGTの活用による保護者サービスの向上

2 質の高い保育・教育の展開

- (1) 遊びへの意欲が高まる活動内容
 - 主体性と発達に応じた遊びの充実 ○挑戦する気持ちと達成感を得られる活動
 - 社会性と協調性の向上 ○非認知能力と認知能力のバランス育成
- (2) すべての子どものウェルビーイングの実現
 - 子どもの人権尊重 ○自己肯定感を育む保育・教育の実施 ○家庭支援
- (3) 学院活動
 - 学院活動(3小連携)との連携・接続の深化
- (4) 職員のスキルアップ
 - 職員研修の充実 ○園内研修の実施

3 多様なニーズに対応した保育・教育の実施

- (1) 多様なニーズに対応した保育・教育の実施
 - 早期・延長保育、預かり保育 ○障害児・発達支援児保育
 - 医療的ケア児の受け入れ ○多文化・外国にルーツを持つ子どもを受け入れ ○休日保育
 - 一時預かり保育 ○病児・病後児保育 ○アレルギー児の対応
 - 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）、親子通園支援事業
 - 多様性の尊重 ○地域の子育て支援
- (2) 保育サービスの充実
 - 紙おむつ・おしりふきの無償提供 ○一時預かり保育（3時間まで無料）
 - ニーズの把握
- (3) 地域力の活用
 - 地域資源との連携 ○地域資源の活用

保育園
留学

4 働きやすい職場づくり

- (1) 人材確保に向けて
 - 心理的安全性の高い職場環境の構築 ○適正な業務分担 ○働きやすい環境の整備
 - 人事評価・キャリア形成 ○IGTの活用 ○ワーク・ライフ・バランスの実現
 - 福利厚生充実

正式な指針は3月中に完成見込

24～27、112～113

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	子育て環境・保育・教育の充実に向けて (子ども・子育て支援推進事業、保育園留学推進事業、乳児等通園支援事業、民間保育園運営事業、認定こども園運営事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.4：保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の改定施行 ・R03～：福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置 ・R04～：保育・教育の質向上のための研修会、就学前施設長による保育サービス拡充・適正化研究会の開催 ・R06.12：京都府「子育てにやさしいまちづくり推進計画」の策定・認定 ・R07：「保育・教育の充実に向けた行動指針」を策定 		43,875	1,057	5,150		20,000	17,662		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			15,596	国	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金		457			
目的・目標	<p>本市が子育て世帯に「選ばれるまち」となることを目指し、R7に策定する行動指針に基づき就学前施設における各施策を体系的かつ着実に推進することで、保育・教育環境の充実と保育サービスの質的向上を図る。</p> <p>また、少子化や家庭環境の多様化が進む中、すべての子どもが安心して健やかに成長できる環境を整えるとともに、保護者が安心して子どもを生き育てられる環境づくりを進める。</p>		(参考)前々年度決算額	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		3,666			
			16,619	府	乳児等のための支援給付交付金ほか		1,490			
				繰入	子ども若者未来応援基金繰入金		20,000			
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<p>■「保育・教育の充実に向けた行動指針」に基づく取組の進捗管理 88千円【新規】 R7に策定する行動指針に基づき、市及び各施設が取り組む具体策の進捗管理会議（仮称）の開催。</p> <p>■「家庭の子育て力を高めるための講演会（仮）」の開催 84千円【新規】 就学前施設職員を対象に実施してきた保育・教育の質向上に向けた研修会について、子育てに役立つ講演会として、参加対象を一般の子育て家庭に拡大。</p> <p>■保育・教育の質向上のための研修実施 916千円【充実】 保幼小接続カリキュラムに基づき、全就学前施設職員・小学校教員等を対象に実施する研修会及び施設訪問による実践研修の充実。</p> <p>■障害児特別保育支援事業の実施33,787千円（うち、拡充分2,304千円）【充実】 民間保育園等において障害児の受入れに係る保育士の加配基準の見直し 従来：軽度障害児4人：保育士1人→R8：施設が受入れに必要な保育士人数まで支援。</p> <p>■保育園留学の実施 5,500千円【新規】 都市部の子どもとの交流による多様な価値観の学びや保育環境の充実を図るとともに、外部の意見を取り入れることで保育サービスの質的向上につなげる。 ○実施場所 亀ヶ丘保育園</p> <p>■乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施 800千円【新規】 ○実施場所 吉津子ども園 ○対象者 保育所等に在籍していない生後6か月から満3歳未満の子ども</p> <p>■就学前施設における紙おむつ等の無償提供サービス 2,700千円【継続】 R8.2現在入所児童数 314人（うち利用申込者314人、使用中160人）</p>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	子育て支援						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画					R7～R11	
			期待される効果等							
			<p>みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の学校教育・保育サービスの充実 ・多様なニーズに対応した保育 ・保幼小連携の推進 							
			  							
			担当部署	健康福祉部 子ども未来課 子育て応援係					45-1621	24～27 112～113

「みんなで育み みんなが育まれるまち みやづ」に向けて

「妊娠・出産から高校卒業までの切れ目ない支援」と「多様な人々の繋がりによる子育て機運の醸成」の強力推進



教育・保育サービスの充実



にっこりあでの託児や民間保育園等での一時預かりサービス

1人1台タブレット活用による学習支援

(継) にっこりあの充実(体験・大型遊具)

(新) こども誰でも通園制度(6か月～3歳未満対象)
全就学前施設における紙おむつ等無償提供サービス

(継) 放課後探求スクール

(新) 生成AIを活用した英語教材の充実

(充) キャリア教育

(充) 全小中学校へのコミュニケーション教育の拡充

(新) 利便性等の向上に向けたDXの推進(母子健康手帳アプリ、放課後児童クラブ連絡アプリの導入等)

(充) 市独自の保育士加配に対する支援

(継) 子どもの学び応援プロジェクト

(新) 子育て講演会

(新) 保育園留学(3歳以上対象)

中学生以上を対象にした姉妹友好都市派遣



家庭と子どもへの支援体制の充実



妊婦のための支援給付
妊娠に5万円と妊娠している子どもの人数×5万円

低廉な保育料
・国基準の約53%で設定

充実した就学援助制度
認定収入基準を国基準×1.5倍

漢字・英語検定料全額助成

中学卒業・夢未来応援給付金(5万円)

未来を担う人財応援奨学金
・最大60万円/年、Uターンの場合返済免除

市独自の充実した不妊治療費助成
一般治療3万円まで全額助成 等

高校生までの医療費助成(自己負担額 1医療機関200円/月)

(継) ヤングケアラー実態調査

(充) 給食費保護者負担軽減対策

(継) ひとり親世帯等を対象としたファミサポ利用助成

(新) 養育環境に困難を抱える家庭の支援に向けた子育て世帯訪問支援

妊娠・出産から就学前までにおける
緊密な伴走型支援(担当保健師等による長期フォロー)

校内フリースクール

(継) 民間との連携による「みやづ子どもサポートセンター」設置・運営

(継) 医療MaaSによる産後2週間健診

こども家庭センターの設置・運営(全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに対する一体的相談支援)

(充) 放課後児童クラブに係る「日置地区の受入れ」
(新) 各クラブへの「巡回支援」

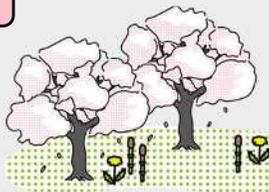
地域ぐるみで子育て家庭を支えるまちづくり



(新) つなぐ資源・ひろがる子育て支援事業

(充) 子育て応援事業所による親子体験教室

(充) 子育て応援フェスタ「はぐフェス」の開催(多様な人々の繋がり)



事業名	地域ぐるみでの子育て応援の推進 (地域子育て支援事業)	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 緯	・R2.4:「にっこりあ」において、ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所に活用 ・R3.7:子育て家庭を応援するサービスを行っている事業所を「子育て応援事業所」として認定する制度を開始		6,834	97	4,457			2,280		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 標	子育て応援事業所による環境整備への支援や事業者で発生する余剰食材等を子ども食堂や子育て支援団体等に提供する仕組みを構築し、多様な人々の繋がりによる子育て機運の醸成を図るとともに、ファミリー・サポート・センター事業の会員の確保や活動の促進等により、多様なニーズに即した子育て支援体制の充実を図る。		2,814	国	子ども・子育て支援交付金			97		
			(参考)前々年度決算額	府	子ども・子育て支援交付金			97		
事 業 要 概	■つなぐ資源・ひろがる子育て支援事業【新規】 4,500千円 ※詳細別紙 事業者で発生する余剰食材等を子ども食堂や子育て支援団体等に提供する仕組みを構築する。 ○委託先:宮津市社会福祉協議会 ○委託費:人件費・冷蔵庫、ラック等の商品収納物品の購入・事務費 ■子育て応援事業所環境整備補助 700千円 子育て家庭を応援するために必要な環境の整備や子育て支援サービスを開発する事業所を支援する。 ■ファミリー・サポート・センター事業 293千円 会員同士の交流会やスキルアップ講習会を実施し、まかせて会員の資質向上と継続的な活動の維持を図る。また、会員間のつながりを強化することで、利用促進と多様なニーズに応じた子育て支援体制を提供する。 ■子育てサポーター育成事業 1,341千円 サポート活動に対して報酬を支払うことにより、登録会員の増加と活動の活性化、多様な人々の参画を図り、地域全体で子育て家庭を支援する。		226	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金			4,360		
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事 業 要 概			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	子育て支援						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R7	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R7~R11			
			期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・地域ぐるみでの子育て支援の推進 ・企業や事業所による子育て支援の機運醸成 ・子育て支援のネットワークづくりの充実 ・子育てと仕事の両立支援						
担当部署	健康福祉部 子ども未来課		45-1640		29					
	子ども福祉係・子育て応援係		45-1621							

事業スキーム

宮津市社会福祉協議会

宮津市

支出なし

市内事業所との「食材等提供
にかかる連携事業」

・店に出せなくなった食料品や日用品等を月1回譲り受け、その食料品等を生活困窮世帯に配布



つなぐ資源・ひろがる子育て支援事業

●職員 新規(専任)1名

社協

← 余剰食材等の回収

← ●対象品目を拡大(米、野菜、加工品等)

食品小売店

農業者・漁業者

旅館業

飲食業

障害者施設

参画事業所を「子育て応援事業所」に認定

↓
参画に必要な初年度経費は既存補助制度で支援

委託

委託料に含む経費

- ・人件費
- ・食料品調達経費
- ・ストックヤード整備経費
- ・事務費(在庫管理、広報宣伝費等)

配布

生活困窮世帯



ひとり親家庭

子ども食堂等

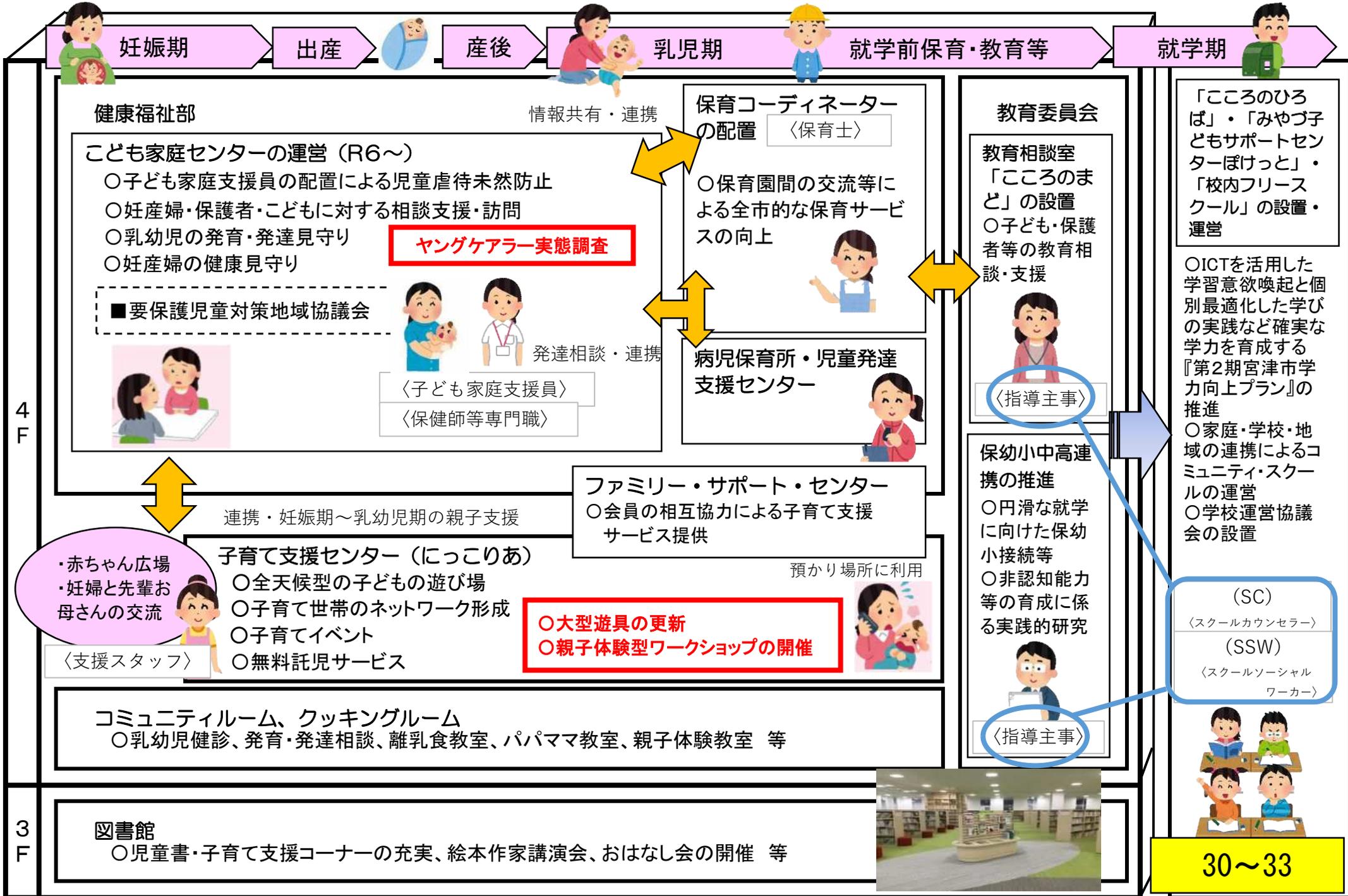
子育てサークル・サロン

子どもサポートセンター

民間保育園・子ども園

配布

ささえあいセンター内にストックヤード整備(冷蔵庫・冷凍庫等含む)



事業名	にっこりあを核とする子育ての輪づくり (地域子育て支援事業)	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 経 緯	・H29.11：宮津市子育て支援センター「にっこりあ」開設、利用者支援事業を開始 ・R3～：「にっこりあ」facebookの運用開始、オンライン子育て相談を開始 ・R4.6：児童福祉法等の一部を改正する法律改正により、地域子ども・子育て支援事業として(子育て世帯訪問支援事業・児童育成支援拠点事業・親子関係形成支援事業)計画的な支援の実施が位置づけ ・R6.4～：「にっこりあ」での託児サービスを本格実施		36,421	10,159	14,989		8,029	3,244		
			(参考)前年度予算額					特 定 財 源 の 内 訳		
			24,986	国	子ども・子育て支援交付金	10,159	府	子ども・子育て支援交付金	6,163	
目 的 目 標	子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安、悩みを相談できる場を提供するとともに、多様な人々の繋がりによる「まち全体での子育て」に向けた機運醸成と、子育て応援事業所をはじめとする地域ぐるみで子育て家庭を支えるまちづくりの推進を図る。併せて、ヤングケアラー等の配慮を必要とする子育て家庭への支援体制の充実を図る。		(参考)前々年度決算額							
			18,398	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金	8,826	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金	6,800	
			総計重要プロジェクト		若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			その他	親子体験教室参加費ほか	1,229					
事 業 概 要	■「にっこりあ」の運営 25,647千円【充実】 ・地域子育て支援拠点事業(子育て中の親子が気軽に集える場の提供)、利用者支援事業(相談や情報提供、助言等必要な支援)、託児サービス(6か月から未就園の子ども託児)の実施 ・親子体験型ワークショップの開催及び大型遊具の整備 ・有料化に係るキャッシュレス対応券売機の導入 [新規] ・入退館管理システムの導入 [新規]		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
	■子育て世帯訪問支援事業の実施 491千円【新規】 ・家事や子育てに不安や負担を抱える子育て家庭やヤングケアラー等がいる家庭へ訪問支援員が居宅訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに家事や育児等の支援を行う。 ・訪問支援員を介護事業所等へ委託予定(家事支援・訪問交通費・事務管理費) ・1日2時間以内(月8時間まで) ・利用料：無料		施策分野	子育て支援						
	■多様な人々の繋がりによる子育て機運の醸成 10,283千円 ・つなぐ資源・ひろがる子育て支援事業 [新規] [No.20再掲] ・子育て応援事業所環境整備補助 [再掲] ・ファミリー・サポート・センター事業 [再掲] ・子育てサポーター育成事業 [再掲] ・その他(子育て応援フェスタの開催、親子体験教室等)		【宮津市総合計画以外の計画】							
			R7	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R7～R11			
			期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・地域ぐるみでの子育て支援の推進 ・企業や事業所による子育て支援の機運醸成 ・子育て支援のネットワークづくりの充実 ・子育てと仕事の両立支援 ・子育て環境の充実						
		担当部署	健康福祉部 子ども未来課		45-1640		31			
			子ども福祉係・子育て応援係		45-1621					

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.4:小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入 ・R3.3:宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3～R7)策定 宮津市学力向上プラン(R3～R7)策定 宮津市立小中学校において、1人1台ICT端末環境整備が完了 ・R5.4～:コミュニケーション教育の試行開始 中学校におけるオールイングリッシュ授業の開始 ・R8.4～:コミュニケーション教育の全小中学校での実施開始 		23,224		3,059		3,070	17,095	
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
			15,580	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金	500			
			(参考)前々年度決算額	府	子どもの教育のための総合交付金	2,559			
			9,715	繰入	教育基金繰入金	2,800			
				諸	家庭学習用通信費負担金	270			
目 的 ・ 目 標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「たくましい身体・確かな学力の育成と教育環境の充実」「夢・志・豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事 業 要 概	<p>■論理的思考力や表現力、非認知能力の育成 6,327千円</p> <p>○コミュニケーション教育の推進 2,507千円【拡充】</p> <p>演劇的手法を活用したワークショップ授業を通してコミュニケーション能力の基礎を培い非認知能力の育成・向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングの実践 ・R8～市内全小中学校における事業を展開 <p>(対象:宮津学院・栗田学院小6・中1、3小連携事業として低学年・小6)</p> <p>○語学力向上に向けた取組 3,820千円【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本漢字能力検定」(小4・6)、「英語検定」(中1・3)の活用・検定料全額補助 ・生成AI英語学習アプリを導入し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成し、英語力向上を図る。<新規> <p>■学習における基礎・基本の徹底 2,535千円</p> <p>○算数学び定着サポーターの配置</p> <p>小学校算数科における3・4年生児童への学力定着と向上を図る。</p> <p>■ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現 13,293千円</p> <p>○ICT端末運用に係る経費</p> <p>AIドリルの活用、プログラミング教育の実施、無線アクセスポイント保守料等</p> <p>■ふるさとみやぶ学 800千円</p> <p>○宮津の歴史・文化資源を活かした課題解決型学習等</p> <p>■キャリア教育の充実 208千円【新規】</p> <p>これまで実施してきたキャリア教育に加えて、子どもたちが自身の変容・成長を自己評価できる力を高め、将来をプランニングできる能力の向上を図るため、新たに専門的知識を持つキャリア教育推進員を配置し、課題となっている児童生徒や保護者への指導・相談と併せて、教職員へのコンサルテーションの強化を図る。</p> <p>■教育フォーラムの開催 61千円</p>	施策分野	学校教育						
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R7～R11				
			R7	宮津市教育大綱・第3期教育基本振興計画	R8～R12				
			R7	宮津市学力向上プラン	R8～R12				
			期待される効果等	<p>・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化</p> <p>・確かな学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びと協働的な学びの実現)</p> <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <p>・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学・国語・英語)の平均正答率</p> <p>R6:小6算数 64.0、中3数学 53.0、小6国語 67.0、中3国語 60.0、中3英語 46.0</p> <p>→R8:全国平均・京都府平均以上</p>					
担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係		45-1641	35					



取組を継続

		これまでの取組	R8の取組	今後の取組	
宮津の新たな学び創造事業	【重点施策】	論理的思考力や表現力、非認知能力の育成			
		◆コミュニケーション教育の推進	・小学校・中学校のモデル校(2校)、北部3小学校を対象とした演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を実践。	◆コミュニケーション教育の市内全校園への全面展開 ・非認知能力の向上が図られることで、認知能力の向上にも繋がるとして実践拡充	◆コミュニケーション教育の事前準備や事後学習を効果的に実施し、授業改善につなげる ◆子どもたちの「社会で生きて働く力」を育成 ◆認知能力・非認知能力育成につながる一体的な指導と授業づくりの実現
		◆語学力向上に向けた取組	◆中学校におけるオールイングリッシュ授業(選択英語) ◆日本漢字能力検定の活用(小学4・6年生) ◆英語検定の活用(中学1・3年生)	◆AIの導入拡大 ・生成AI英語学習アプリを活用した英語学習の充実	◆子どもたちの「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成し、英語力の向上を図り、高等教育を見据えた中学校の英語教育の強化を目指す
		学習における基礎・基本の徹底			
		◆算数学び定着サポーターの配置	◆算数学び定着サポーターの配置 ・2名のサポーターを小学校に配置し、3・4年生児童の算数科における学力の定着と向上 ◆授業における個別指導と学習のねらいの達成	◆指導主事・学びの深化プロジェクトサポート訪問による伴走支援を実施 ◆児童生徒の課題等を踏まえた授業改善・学校改善の実施	◆サポーター配置(2名)による授業での直接指導、個別学習ドリルの活用を通じた授業改善 ◆サポーターと連携した小学校教員の指導力向上 ◆家庭学習充実のための教材提示、反転学習、タブレット活用
		ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現			
		◆ICT端末の利用環境の充実	◆タブレットの更新とネットワーク環境の充実 ◆デジタル教科書やAIドリルを使用した学びの個別最適化	◆タブレットの効果的な活用による授業改善 ◆プログラミング教育の研修	◆ICT教育に係る環境整備 ◆情報を主体的に扱い、思考を広げたり他者と協働したりするための基礎となる力(情報活用能力)の育成 ◆プログラミング教育の拡充
	◆意欲を引き出す家庭学習への指導と支援、啓発	◆授業と家庭をつなぐ反転学習の研究 ◆「家庭学習の手引き」や学習ドリルの活用 ◆タブレットを活用した学習意欲の高揚	◆タブレットを活用した反転学習の推進 ◆家庭学習のねらいや効果について家庭との共有	◆授業と家庭学習を効果的につなぐ反転学習の積極的な実践 ◆各種テスト返却時での学力課題の提示と家庭学習への支援	
	夢・志・豊かな感性	ふるさとみやづ学			
		◆宮津の歴史・文化等の資源を活かした教育活動	◆総合的な学習の時間を活用した取組の実施 ◆市作成カリキュラムを活かした各校カリキュラム作成と改善	◆各学院や3小連携における系統的かつ特色ある取組の拡充 ◆地域学校協働活動との連携を通じた学習活動の活性化	◆「ふるさと検定」「ふるさと提言」の充実と発信 ◆地域資源を活用した中学校の課題解決型学習の実施
キャリア教育					
◆キャリア教育の推進		◆社会科見学(小学校)・職場体験活動(中学校) ◆キャリアパスポートの作成(小中学校)	◆キャリア教育推進員の配置(中学校拠点校) ◆教職員へのコンサルテーションの強化ほか	◆キャリアプランニング能力の育成 ◆児童生徒・保護者への相談体制の強化	
計画の推進	教育フォーラムの開催				
	◆宮津の新たな学びの実践発表	◆児童生徒が登壇して教育実践の報告 ◆地元出身大学生によるフォーラムのファシリテーター実践	◆児童生徒が参加するパネルディスカッションとして実施 ◆教育専門家による各学校の教育実践への講評	◆「学びの主体」となる児童生徒自身の考えの発表機会の確保 ◆市民・保護者への「宮津の新しい教育」の周知・PR	
	推進体制	◆宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3～R7) ◆宮津市学力向上プラン(R3～R7) ◆教育の重点(毎年作成)	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画(R8～R12) 第2期宮津市学力向上プラン(R8～R12) 教育の重点(毎年作成)	35	

事業名	のびのび放課後児童クラブ事業	充実	予算額	財源内訳																							
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																			
背景・経緯	・R7.1～6:日置小学校区の保護者、浜自治会及び日置・世屋自治連合会から日置小学校児童の府中のびのび放課後児童クラブ通年利用に係る要望書の提出 ・R7.8:R8.4から通年利用を実施する方向について、各関係機関との調整状況を要望団体に説明		76,430	22,799	22,285		31,274	72																			
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																							
目的・目標	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、仕事と子育てを両立できる環境づくりを図る。		60,224	国	子ども・子育て支援交付金			22,285																			
			(参考)前々年度決算額	国	保育対策総合支援事業費補助金			514																			
			54,975	府	子ども・子育て支援交付金			22,285																			
				繰入 分負	子ども若者未来応援基金繰入金 放課後児童健全育成事業利用者負担金			22,800 8,474																			
事業概要	■放課後児童クラブ事業運営委託料 75,401千円 各小学校内(宮津、栗田、吉津、府中)に設置するのびのび放課後児童クラブにおいて、その運営を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R8年度</th> </tr> <tr> <th>定員</th> <th>運営経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津のびのび放課後児童クラブ</td> <td>112人</td> <td>40,609千円</td> </tr> <tr> <td>栗田のびのび放課後児童クラブ</td> <td>35人</td> <td>8,129千円</td> </tr> <tr> <td>吉津のびのび放課後児童クラブ</td> <td>35人</td> <td>8,539千円</td> </tr> <tr> <td>府中のびのび放課後児童クラブ※R8から日置小児童通年受入</td> <td>35人</td> <td>11,062千円</td> </tr> <tr> <td>保護者連絡アプリの導入【新規】</td> <td></td> <td>476千円</td> </tr> <tr> <td>その他事務費等</td> <td></td> <td>6,586千円</td> </tr> </tbody> </table> うち、日置小児童に係る放課後児童クラブでの受入に係る経費 2,351千円【新規】		R8年度		定員	運営経費	宮津のびのび放課後児童クラブ	112人	40,609千円	栗田のびのび放課後児童クラブ	35人	8,129千円	吉津のびのび放課後児童クラブ	35人	8,539千円	府中のびのび放課後児童クラブ※R8から日置小児童通年受入	35人	11,062千円	保護者連絡アプリの導入【新規】		476千円	その他事務費等		6,586千円	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト
					R8年度																						
			定員		運営経費																						
			宮津のびのび放課後児童クラブ	112人	40,609千円																						
			栗田のびのび放課後児童クラブ	35人	8,129千円																						
			吉津のびのび放課後児童クラブ	35人	8,539千円																						
			府中のびのび放課後児童クラブ※R8から日置小児童通年受入	35人	11,062千円																						
			保護者連絡アプリの導入【新規】		476千円																						
			その他事務費等		6,586千円																						
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり																							
施策分野	子育て支援																										
【宮津市総合計画以外の計画】																											
R7	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R7～R11																									
期待される効果等	・子育て環境の充実による移住・定住の促進 ・市内全域で通年的に放課後児童クラブの利用が可能 ・仕事と子育てを両立できる環境整備																										
担当部署	健康福祉部 子ども未来課 子ども福祉係	45-1640	39																								

事業名	みやづのつながるQ-port推進事業 ～地域に向き合い異年齢で交流する学びで宮津への理解と愛着を深化～	新規	予算額	財源内訳										
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28～: 次世代人材育成事業の展開 (市内の高校と連携し、生徒が仕事等に対して向き合う講座などを支援し、将来のみやづを担う人材育成を図るもの) ・R元～: 大学等地域活動連携推進事業 (大学・地域連携プロジェクト) の展開 (大学からの提案による地域団体と協働事業を支援し、宮津市域での大学のフィールドワーク等の受入れを強化して、地域課題の解決を図るもの) ・R5.5: 「宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議」の設置 ・R6～: 「みやづの高校魅力向上プロジェクト」として、高校大学連携コーディネーターと高校地域連携コーディネーターを配置 ・R7～: 小・中・高校生が交流し、学びを深める「放課後探究」を実施 		23,400		7,333			16,067						
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳										
			—	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		7,333							
			(参考)前々年度決算額											
目的・目標	心豊かで生きがいある人生を創造する学びを推進するため、高校と大学、高校と地域、高校と小中学校との探究を通じた協働活動等による連携を深めることで、探究学習の質の向上を図るとともに、将来の宮津を担う子ども達を育成する。		—											
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト										
事業概要	<p>■みやづの高校魅力向上プロジェクトの展開 23,400千円</p> <p>○高校大学連携コーディネーターの配置 1,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校の大学等との連携による教育活動等の充実を支援するため、コーディネーターとして高校、大学双方の分野に精通した学識者を1名配置 <p>○高校地域連携コーディネーターの配置 22,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の探究活動の実践等の地域活動に寄り添うコーディネーターを1名配置 ・連続性のある探究的な学習のプロセスを構築するため、放課後探究スクールを通じて、市内高等学校と小中学校の探究活動を連携させるコーディネーターを1名配置 ・小、中、高校生が宮津の地域資源を活かした様々なテーマや自らの疑問に対して、異年齢で交流し、探究的な学びを深める放課後探究スクールを展開 <p><高校地域連携の展開></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 高校生への探究支援 ・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・市内3高校の情報発信 (広報誌連載) </td> <td> ・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・小中学校との探究学習による交流 (連携学習、授業視察など) </td> </tr> <tr> <td> 放課後探究スクール「Q-port」 異年齢交流(小中高校生)による探究を通じた学び合いの場 ・高校生による企画立案 ・ミニ探究講座 </td> <td> ・探究プロジェクト企画立案・実践 ・高校生による小中学生向け探究講座 ・地域(事業者等)とのワークショップ ・スクール生の個別サポート(自己探究) </td> </tr> </tbody> </table> <p>○市内高校と事業者等との連携による課題解決型の人材育成 100千円 生徒が地域の課題解決や仕事等に対して向き合う講座などを支援</p>	R7	R8	高校生への探究支援 ・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・市内3高校の情報発信 (広報誌連載)	・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・小中学校との探究学習による交流 (連携学習、授業視察など)	放課後探究スクール「Q-port」 異年齢交流(小中高校生)による探究を通じた学び合いの場 ・高校生による企画立案 ・ミニ探究講座	・探究プロジェクト企画立案・実践 ・高校生による小中学生向け探究講座 ・地域(事業者等)とのワークショップ ・スクール生の個別サポート(自己探究)		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
		R7	R8											
		高校生への探究支援 ・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・市内3高校の情報発信 (広報誌連載)	・「総合的な学習の時間」サポート ・探究学習の市内事業者との連携 ・小中学校との探究学習による交流 (連携学習、授業視察など)											
		放課後探究スクール「Q-port」 異年齢交流(小中高校生)による探究を通じた学び合いの場 ・高校生による企画立案 ・ミニ探究講座	・探究プロジェクト企画立案・実践 ・高校生による小中学生向け探究講座 ・地域(事業者等)とのワークショップ ・スクール生の個別サポート(自己探究)											
		施策分野	社会教育、学校教育、市民協働											
		【宮津市総合計画以外の計画】												
		R7	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画			R8～R12								
		期待される効果等												
		<ul style="list-style-type: none"> ・市内の高校の魅力向上と次世代の人材育成 ・小中高校が連携した教育活動の展開 ・生徒児童の学習意欲の向上 ・生徒児童の地域への参画による地域活性化 												
		担当部署	教育委員会事務局	社会教育課	社会教育係	45-1642	41							
		学校教育課	学校教育係	45-1641										

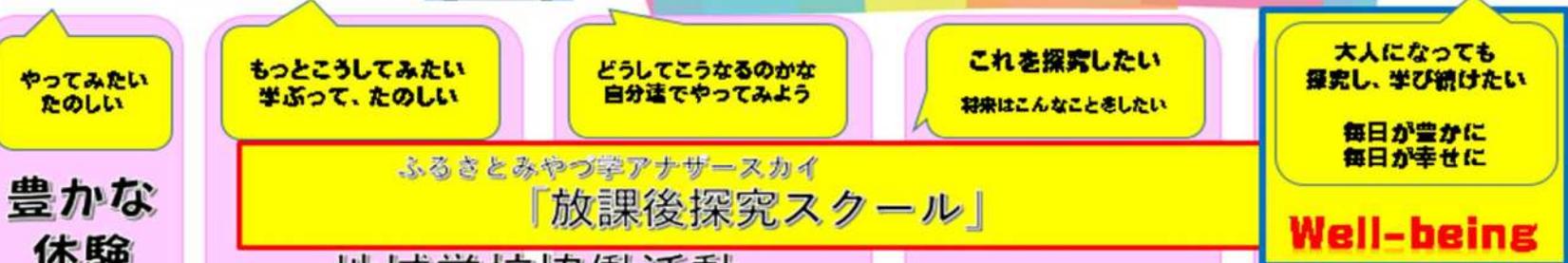
みやづのつながるQ-port推進事業

探究的な学びを通じた宮津の子どもの育成



地域

社会教育



園・学校

学校教育



就学前

小学校

中学校

高等学校

大学・大人

事業名	学校給食運営事業～中学校までの給食運営と食育の推進～ ～小学校の給食費への全額支援開始～	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景 経緯	・H30.8：民間委託によるセンター方式給食開始及び中学校給食開始 (4小学校でセンター方式給食へ移行) ・R3.4：市立幼稚園の給食開始 ・R7.12.18:自民党・公明党・日本維新の会の3党実務者協議で、「学校給食費の抜本的な負担軽減の取組」合意		227,558	5,521	30,659		33,583	157,795
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			219,888	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)			5,521
			(参考)前々年度決算額	府	給食費負担軽減交付金			30,659
			211,783	繰入	教育基金繰入金			4,980
				分負	学校給食費保護者等負担金			28,603
目的 目標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、安全・安心な学校給食を維持・充実させながら、更なる食育を推進する。また、小学校の給食費について、国の学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)の取組及び市の公費により全額支援を行う。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
事業 概要	■市立幼稚園・小・中学校での給食運営と食育の推進 227,558千円		施策分野	学校教育				
	<ul style="list-style-type: none"> ○一汁三菜を基本とした献立、地場産物を積極的に活用した給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭3名による工夫した献立の作成、手配書の作成等 ・丁寧なアレルギー除去食の提供 ○食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐだより」の発行 ・「みやづ食の日」の実施等 ・「宮津を食べようコンテスト」の実施など ○宮津市学校給食委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・給食の円滑な運営及び「食材調達部会」、「献立作成部会」の運営 ・食育の推進に係る協議 							
	■小学校の給食費に対する全額支援「保護者負担ゼロ」【新規】		【宮津市総合計画以外の計画】					
	<ul style="list-style-type: none"> ○国の抜本的な負担軽減及び(国の基準額を超過した部分の)公費負担による全額支援(=給食の無償化) 		R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R7～R11	
	・小学校 66,600円/年 ⇒ 【57,200円/年】 + 【9,400円/年】 ⇒ 保護者負担はゼロ (料金改定後)		R7	宮津市教育大綱・第3期教育基本振興計画			R8～R12	
	(国負担支援額) (市負担支援額)		期待される効果等					
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食について、一汁三菜を基本とした献立、給食の質を維持し、更なる食育を推進することで、安全・安心な学校給食を提供することができる。 ・物価高騰下における学校給食の増額改定分を公費で支援することで、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。 						
								
		担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係		45-1641	42		

事業名	物価高騰下での給食費保護者負担軽減対策 (給食費高騰対策支援事業、学校給食運営事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・全国消費者物価指数(食料)前年度同月比 6.8%増 (R7.8月~10月平均) ・学校給食会精米供給価格 前年度対比 43.4%増 ・牛乳改定価格(見込み) 前年度対比 8.1%増 ・R7 給食費高騰支援の実施 (R4の保護者負担額を据置き、差分を公費負担) ※公立保育所についてはR5に料金改定実施 (地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰分を補助) ・R7.12:宮津市学校給食委員会食材調達部会を開催し、給食費の値上げを協議 		6,841	6,841	0	0	0	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			11,119	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)			6,841
			(参考)前々年度決算額					
			7,820					
目的・目標	急激な物価高騰により給食食材費の高騰が続く中、就学前施設、中学校の給食費について、保護者負担の増加を軽減するため、給食費の物価高騰に係る増額分の緊急支援を行う。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
事業概要	<p>■民間保育園、認定こども園への支援 1,320千円</p> <p>○支援内容:物価高騰による給食費の増額改定を実施した施設の園児、児童分を支援 ・保育園給食:民間保育園・認定こども園</p> <p>○対象期間:令和8年4月~令和9年3月</p> <p>○参 考:給食費の状況(民間保育園及び幼保連携型認定こども園) (R4保護者負担額) (物価高騰による給食費値上げ必要額) 6,000円/月 → 6,500円/月 (+500円/月) ※支援額</p> <p>給食費の状況(幼稚園型認定こども園) (R7保護者負担額) (物価高騰による給食費値上げ必要額) 430円/食 → 460円/食 (+30円/食) ※支援額</p> <p>■センター方式給食・自校給食の公立幼稚園・中学校への支援 5,521千円</p> <p>○支援内容:給食費の増額改定における、物価高騰による部分を支援 ※給食費の実質の徴収額を抑制し支援する (R4保護者負担額) (料金改正後) (R8据置額) (支援額)</p> <p>・幼稚園 180円/食 → 250円/食 【180円/食】 +70円/食</p> <p>・中学校 290円/食 → 415円/食 【290円/食】 +125円/食</p> <p>※給食費については、国・府の補助金等の支援策等財源を確保しながら、保護者負担軽減策を検討することとする。</p>		施策分野	子育て支援				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R7~R11			
			R7	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画	R8~R12			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。 ・急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において公費により、現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った一汁三菜の手作りの学校給食を引き続き提供することができる。 				
			担当部署	子ども未来課 学校教育課	子育て応援係 学校教育係	45-1621 45-1641	43・68	

事業名	魅力ある持続可能な観光地域づくり (魅力ある観光地域づくり事業、持続可能な観光地域づくり事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28.6 : 海の京都DMO(一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社)の設立 ※北部5市2町からの負担金等も受けて広域プロモーション等を展開中。 天橋立観光協会は「海の京都DMO天橋立地域本部」という位置づけに。 ・ R 3.5 : 宮津市SDGs推進本部(庁内組織。市長が本部長)の設置 ・ R 4.3 : 『宮津市観光戦略』の策定 ・ R3-R5 : 地域連携型観光コンテンツを造成(販路構築が課題) ・ R5-R6 : 観光DXの構築(宿泊データ等を収集・分析する仕組みを構築) ・ R5-R6 : 世界の持続可能な観光地TOP100に2年連続で選出 ・ R 8.3 : 『第2期宮津市観光戦略』(R8~R12)の策定 		62,949	10,104	6,505		31,164	15,176
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			62,749	国	地域未来交付金			10,104
			(参考)前々年度決算額	府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金			275
			99,493	府	きょうと地域連携交付金		6,230	
				繰入	観光振興基金・まちづくり基金繰入金		31,100	
				諸	世界で最も美しい湾クラブ年会費分担金		64	
目的 目標	『第2期宮津市観光戦略』に基づき、地域一体となった誘客活動に取り組む体制を構築するとともに、「満足度の向上」や「観光消費額の拡大」などに向けた観光地域づくりを進める。		総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域連携によるプロモーションで「海の京都・宮津」への誘客推進 18,700千円 ○海の京都DMOに係る負担金 ※北部5市2町で計76,062千円を負担。 ■ 「天橋立観光協会」を中心とした満足度向上策の促進 28,250千円 ○海の京都DMO天橋立地域本部(天橋立観光協会)への支援 26,750千円 ・ 観光誘客等の推進を支援するため「観光振興交付金」を交付 ・ 天橋立駅観光案内所の運営や『日本三景天橋立総合パンフレット』作成への支援 ○観光事業者を中心に地域主体で実施されている天橋立観光協会が行う「みやづBAY花火」の開催支援 1,500千円 ■ 世界基準に基づく持続可能な観光地づくりと観光DXの推進 4,979千円 (地域一体となった誘客活動に取り組める体制の構築) ○持続可能な観光地としての国際認証の取得 529千円 ○世界で最も美しい湾クラブとの連携強化 550千円 ○LINEを活用した観光CRMの活用やデータ分析等の推進 3,900千円 ■ 天橋立周辺の渋滞対策及び海面利用の安全対策 4,020千円 ○交通事業者と連携した渋滞緩和策や天橋立海面利用安全対策協議会への支援 ■ 『第2期宮津市観光戦略』の推進<外部人材の活用> 7,000千円 ○(株)JTBからの地域活性化企業人を観光戦略担当課長として配置 (R7~) 	施策分野	観光振興					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R7	第2期宮津市観光戦略		R8~R12			
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外からの誘客の計画的かつ効果的な推進 ・ 観光情報の発信力の向上 ・ 観光業における人材不足への対応 ・ 観光施策の実行力の向上と成果の地域全体での共有 					
			<ul style="list-style-type: none"> 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・ 外国人観光宿泊客数 R6:6.7万人⇒R12:10.8万人 ・ 宿泊者数 R6:83万人⇒R12:95万人 ・ 観光交流人口 R6:301万人⇒R12:315万人 ・ 観光消費額 R6:143億円⇒R12:185億円 ・ 顧客満足度 R6:—⇒R12:85% 					
		担当部署	産業経済部商工観光課観光係		45-1625	46・47		

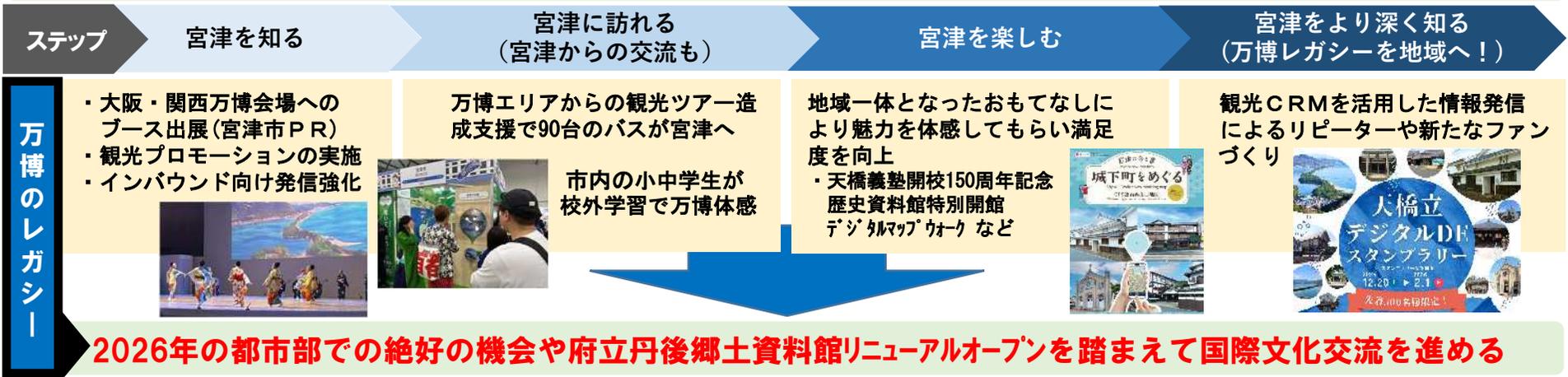


事業名	宮津天橋立文化交流促進事業 ～万博レガシー活かす文化交流で観光都市・宮津の更なる魅力向上へ!～	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景 経緯	<p>■R7.4～10：大阪・関西万博開催</p> <ul style="list-style-type: none"> インバウンド向け情報発信を強化し、出展により観光プロモーションなどを実施 ※4/23：EXPOホール「シャインハット」、5/2：関西パビリオン(多目的エリア)、5/19～5/25：関西パビリオン(京都府ブース)、5/28～6/1：地方創生SDGsフェス(内閣府主催)、5/17、6/9～6/15：BLUE OCEAN DOME(民間パビリオン)、9/22～9/28：関西パビリオン(京都府ブース) 万博会場近隣エリアから宮津市へのバス90台に及ぶ観光ツアーの造成を支援 市内全小中学校の対象学年の児童・生徒441名が校外学習として万博を体験 万博の閉幕後も「天橋立デジタルDEスタンプラリー」キャンペーン(12/20～2/1)を展開し観光CRM(顧客管理システム)構築に向け動きを促進(観光協会支援事業) など 		18,300	2,500	2,850		7,350	5,600	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—	国	地域未来交付金				2,500
				府	さよ々と地域連携交付金				2,850
目的 目標	<p>「本市の交流人口拡大に向けた絶好の機会」と捉え取り組んだ「大阪・関西万博」のレガシーを活かし、京都府立丹後郷土資料館のリニューアルなどを踏まえた文化交流による観光まちづくりを促進することで、シビックプライドの醸成などにつなげるとともに、宮津天橋立の歴史・文化・観光資源などの魅力を未来につなげる。</p>		総計重点プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
			施策分野	観光振興 文化財保存・活用					
				【宮津市総合計画以外の計画】					
事業概要	<p>■ケラマンとヴァルガーの愛したMIYAZUプログラム 3,500千円</p> <p>○ドイツの作家ケラマンとともに1908年に来日し宮津を訪れたスイスの画家カル・ヴァルガーの都市部での日本で初公開となる作品展に合わせて国際文化交流プログラムを展開【スケジュール(予定)】</p> <p>4月～9月：東京ステーションギャラリーと大阪中之島美術館で開催されるヴァルガーの日本初公開となる作品展で宮津プロモーションを実施、市民見学ツアーを開催</p> <p>4/20～5/4：スイスで活躍する写真家や詩人が宮津でヴァルガーにちなむ作品を制作</p> <p>5月～9月：東京ステーションギャラリーと大阪中之島美術館での展示物に係るパネル等を展示するサテライト展や歴史講座等を旧三上家住宅などで開催</p> <p>9月(予定)：ケラマンとヴァルガーの愛したMIYAZUシンポジウム(仮称)の開催</p> <p>■「海の京都」天橋立地区での文化交流による周遊促進 5,200千円</p> <p>○歴史文化に触れられるナイトコンテンツである天橋立砂浜や成相寺でのライトアップ等を実施する「海の京都」天橋立地区協議会の周遊推進事業を支援 2,000千円</p> <p>○エコ観光地づくりに向けたグリーンスマートシティの府中地区での本格運行 3,200千円</p> <p>○みなとオアシス宮津天橋立サイトフェスティバル(仮称)での郷土資料館リニューアルPR等【再掲】</p> <p>■観光誘客プロモーションやコンテンツ造成への支援 など 4,000千円</p> <p>○文化観光プロモーションや日本遺産連携事業の実施、天橋立観光協会への支援 など</p> <p>■文化交流促進による誘客の強化＜外部人材の活用＞ 5,600千円</p> <p>○東武トップツアーズ(株)からの地域活性化企業人を観光誘客担当課長として配置(R7～)</p>		R5	宮津市文化財保存活用地域計画		R6～R15			
			R7	第2期宮津市観光戦略		R8～R12			
			R7	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画		R8～R12			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 重要文化財旧三上家住宅をはじめとする歴史文化資源を活かした文化観光の推進 市内の周遊性を高めるための天橋立の更なる磨き上げ リニューアルされる府立丹後郷土資料館を文化観光の拠点とした観光コンテンツや旅行商品造成の推進 <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人宿泊客数 R6:6.7万人⇒R12:10.8万人 宿泊客数 R6:83万人⇒R12:95万人 観光交流人口 R6:301万人⇒R12:315万人 観光消費額 R6:143億円⇒R12:185億円 顧客満足度 R6:—⇒R12:85% 					
			担当部署	企画財政部企画課文化スポーツ振興係		45-1718			
				産業経済部商工観光課観光係		45-1625			
				教育委員会事務局社会教育課社会教育係		45-1642			
						48			

新規

万博レガシー活かす文化交流で観光都市・宮津の更なる魅力向上へ！

2025.4.13～10.13の大阪・関西万博を通じて「認知から訪問、訪問から満足、満足から定着へ」と歩を進めた



ケラーマンとヴァルガーの愛したMIYAZUプログラム【3,500千円】

○国際文化交流プログラムの展開で1908年に来日をしたドイツの作家ケラーマンとスイスの画家カール・ヴァルガーが最も気に入った地と言われている「宮津」を強力に発信



「海の京都」天橋立地区での文化交流による周遊促進【5,200千円】

- 歴史文化に触れられるナイトコンテンツである天橋立砂浜や成相寺でのライトアップ等
- エコ観光地づくりに向けたグリーンスマートシティの府中地区での本格運行
- 「宮津天橋立サイトフェスティバル(仮称)」での郷土資料館リニューアルPR等【再掲】



観光誘客プロモーションやコンテンツ造成への支援 など【4,000千円】

文化交流促進による誘客の強化<外部人材活用>【5,600千円】



事業名	いきかい繋がる宮津港湾にぎわいづくり事業	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.4 京都府から田井宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受ける 田井自治会に無償貸付(運営:田井宮津ヨットハーバー管理運営組合) ・H20.3 「海の駅」登録 ・H22.9 「みなとオアシスたいみやづ」登録 ・R3.10~株式会社にしがきによる田井宮津ヨットハーバーの運営スタート ・R3.11 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を発足 ・R4~R7 宮津田井海まちフェスタを開催 ・R7.6 「みなとオアシスたいみやづ」のみなとオアシス全国協議会加入 ・R8.3 宮津港湾活用ビジョンの策定 		2,000	900		900	200	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			-	国	地域未来交付金		900	
				繰入	まちづくり基金繰入金		900	
		(参考)前々年度決算額	-					
目的・目標	宮津港湾全域へのみなとオアシスの拡大のために「みなとオアシスたいみやづ」の構成施設追加を宮津港湾活用ビジョンに沿って行い、名称を「みなとオアシス宮津天橋立(仮称)」に変更。宮津港湾全域の賑わい創出に向けて新たなイベントを開催し、各会場を特別便で結ぶことで海を使った周遊観光コンテンツの造成を目指す。	総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
事業概要	<p>■宮津港湾活用ビジョンに基づく「人流のみなと」のまちづくり 1,800千円 みなとオアシスの宮津港湾全域への拡大による、人・コト・モノが行き交い繋がる、住む人も訪れる人も海を感じ楽しめるまちの実現に向け、ビジョンに基づく取組を実施。 ※ビジョンに基づき「みなとオアシス」の構成施設追加を行い(宮津港湾全域へ拡大し)、「みなとオアシス宮津天橋立(仮称)運営協議会」を設立の上、取組を実施。</p> <p>◇海上交通のネットワーク形成と港を起点とした周遊観光の促進 ○海上交通特別便の運行 宮津天橋立シーサイドフェスティバル(仮称)の3会場(田井宮津ヨットハーバー・宮津棧橋・江尻棧橋(新設))を特別便で結び、周遊観光を促進する。 ○宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会の参加</p> <p>◇みなとオアシスを核とする地域の宝を活かした賑わいの創出 ○宮津天橋立シーサイドフェスティバル(仮称)の開催 宮津港湾に隣接の3エリア(田井臨海エリア、島崎・浜町ウォーターフロントエリア、天橋立エリア)の会場において賑わいイベントを同日開催。 ・「宮津田井海まちフェスタ」(田井臨海エリア会場) ・「秋の宮津まんぶく祭」(島崎・浜町ウォーターフロントエリア会場) ・「丹後郷土資料館リニューアルに向けたイベント」(天橋立エリア会場)</p> <p>◇他港(みなとオアシス)と連携した人流の創出 ○府内みなとオアシス4港連携による、相互のPR・プロモーション等誘客施策の実施</p> <p>■B&G艇庫の管理 200千円</p>	施策分野	海の活用					
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R7	宮津港湾活用ビジョン			R8~R12	
				期待される効果等	・新たなにぎわいの創出による地域の活性化 ・観光交流人口の増加 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ○みなとオアシスを中心とした周辺臨海エリア入込客数 R6: 285.6万人 ⇒ R12: 314.1万人			
		担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係		45-1718	50		

新規

宮津港湾活用ビジョンに基づく『人流のみなと』のまちづくりに向けて

宮津港湾活用ビジョン 【ビジョンの期間】 R8～R12年度（5年間）

基本理念 共に創る 繋がる場所 『人流のみなと・みやづ』

取組方針

- | | | | |
|------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
| 方針1 | 海上交通ネットワーク形成と港を起点とした周遊観光の促進 | 方針2 | みなとオアシスを核とする地域の宝を活かした賑わいの創出 |
| 方針3 | 海を身近に感じることができる空間の創出 | 方針4 | 他港（みなとオアシス）と連携した人流の創出 |

みなとオアシスの拡大と海の活用推進組織の移行(案)

R7まで

R8以降

みなとオアシスたいみやづ

みなとオアシス宮津天橋立(仮称)

【構成施設】

【構成施設】

田井臨海 2施設



田井臨海 2施設

島崎・浜町 5施設
天橋立(文珠) 2施設
天橋立(府中) 2施設

田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会

みなとオアシス宮津天橋立(仮称)運営協議会

【構成団体】

【構成団体】

事業者 5事業者

事業者 4事業者

地域・団体 7団体

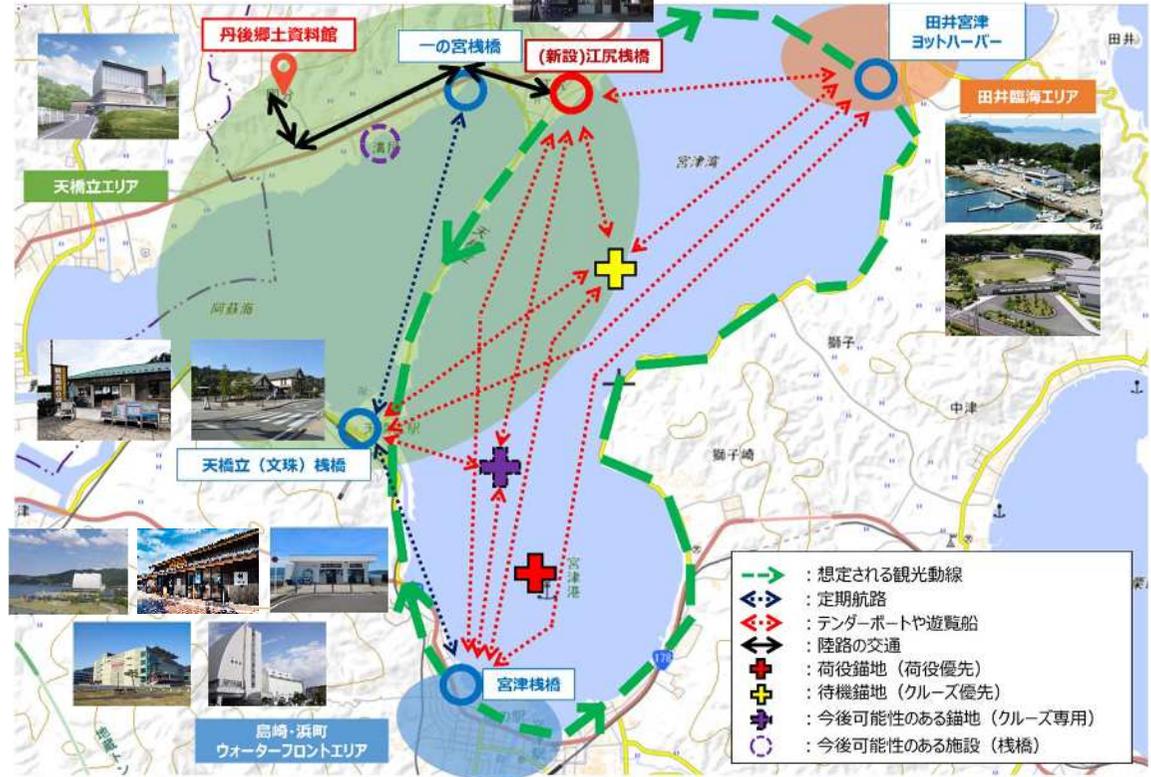
地域・団体 13団体

行政機関 4機関

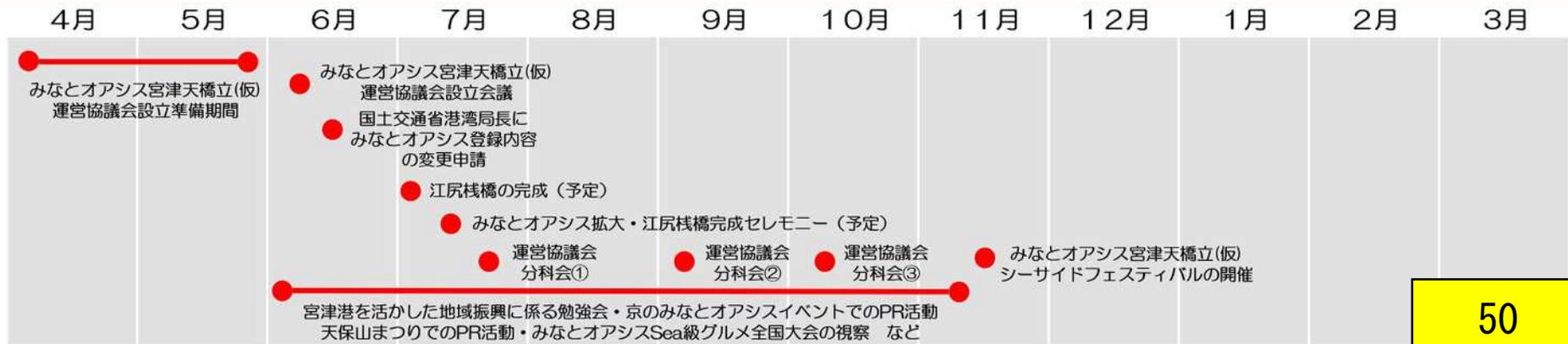
行政機関 7機関



海上交通ネットワーク形成指針(案)と「みなとオアシス宮津天橋立(仮称)」構成施設(案)



◎ R8年度 宮津港湾活用ビジョン（期間：令和8年度～12年度）1年目の事業スケジュール



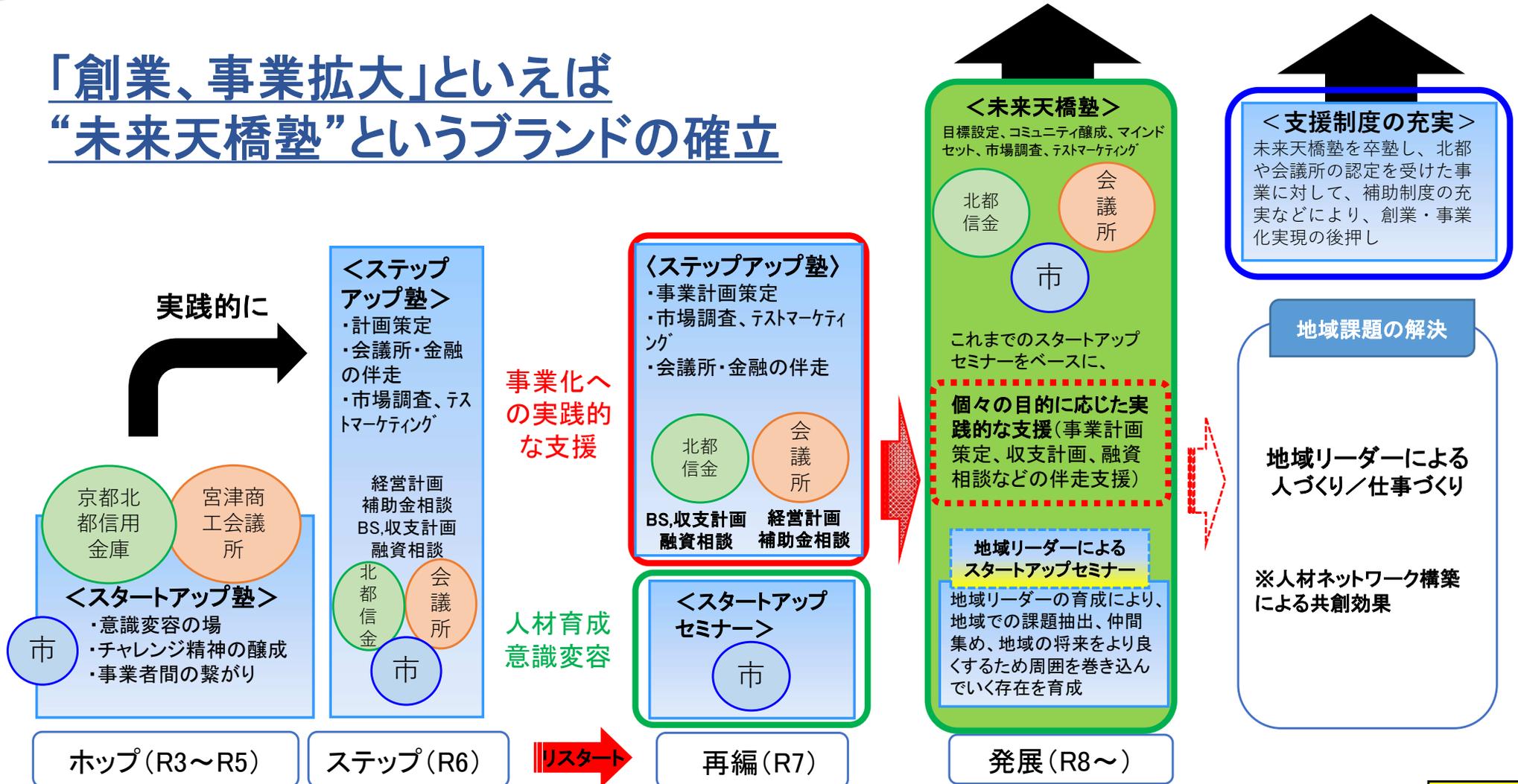
未来天橋塾の展望

～宮津の宝である人と物を育てるために～

宮津市内で創業・開業・新ビジネスの創出

目的：若手人材による創業や新ビジネス創出で地域経済の活性化を図る
「1人1,000万円の売上」を目標に「50人で5億円の経済活動を生む」

「創業、事業拡大」といえば “未来天橋塾”というブランドの確立



○横のつながり、高めあう風土づくり

○横のつながりを残しつつ、市・会議所・金融機関それぞれの役割を明確化
○全体統括（先導役）の地域リーダーの育成

○人材育成・意識変容は必ず参加
○個々の目的・目標に応じて会議所・金融機関へ相談（任意）
○天橋塾卒業生に対するリーダー育成

事業名	魅力ある商いづくり事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・R2.12 信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄附対象事業として選定。 (令和3年度～令和5年度まで未来天橋塾及びチャレンジおうえん補助金事業を実施) ・R3 創業等支援補助金、近代化デジタル化支援補助金の創設 ・R6 より実践的なステップアップ支援として未来天橋塾を開催 ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金の創設		8,700		3,100		2,500	3,100
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			12,363	府	きょうと地域連携交付金			3,100
			(参考)前々年度決算額	繰入	まち・ひと・しごと基金繰入金			1,000
目 的 標	地域経済の活性化に向け、関係機関と連携して新ビジネス創出を目指す方等の新たなチャレンジ等を応援するとともに、ふるさと納税を活用した支援制度の導入により、事業者の新たな資金調達手段の確保や市場評価を導入するなど、事業者の状況に応じた支援を行うことで、起業者の増加や事業者の経営強化につなげていくもの。		7,273	寄附	まちづくり基金寄附金			1,500
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
事 業 要 概	■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業【充実】 2,700千円 市内における事業者の新たなチャレンジを応援する取組を実施		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
	○未来天橋塾の開催【継続、充実】 1,000千円 ・意識変容等のスタートアップから実践的な学びの場として事業化を目指す方まで、個々の目的に応じた伴走型支援やセミナー等を開催する。 ・地域の課題解決や活性化に向け、これまでの未来天橋塾参加者を対象とした地域リーダーを育成するセミナー等を開催する。		施策分野	商工業振興				
	○ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金【継続】 1,700千円 事業者のチャレンジに対し、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより広く寄附を募り、集まった寄附金を活用し地場産品の開発や創業、事業拡大等を支援するもの。 (1) ふるさと納税返礼品開発支援(500千円) ふるさと納税返礼品の新規開発や改良強化を支援(補助額:寄附金額の40%) (2) 事業者のチャレンジ支援(1,000千円) 創業や継業、事業の拡大等、幅広いチャレンジを支援(補助額:寄附金額の70%) (3) 制度活用促進に向けたセミナー開催等(200千円)		【宮津市総合計画以外の計画】					
	■創業等支援事業補助金【継続】 6,000千円 地域経済の活性化に向け新たに創業、第二創業等に取り組む事業者等を支援する。 (施設整備、広告費等) ・補助率:1/2 上限50万円(飲食店創業は500千円、空き家活用は500千円を加算)		期待される効果等	創業・第二創業等に新たにに取り組む事業者の推進による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・創業・第二創業件数 70件/5年 ・事業所数 R3:1,137事業所 → R13:1,100事業所 ・労働生産性向上に取り組む事業所数 R3~R6:39件 → R6~R12:50件				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		51・52
								

事業名	持続可能な環境づくり推進事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 10: 気候非常事態宣言(与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 ・R3~ : 再生可能エネルギーの普及・活用に向けた調査・設計等の実施 ・R7 : 府中小学校、宮津中学校、府中地区公民館への太陽光発電設備の設置		32,623	27,963	4,490		100	70	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			281,921	国	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金		27,863		
			(参考)前々年度決算額	国	地域未来交付金		100		
			34,479	府	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金		4,490		
目的・目標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組を進め、環境負荷の小さなまちを目指す。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事業概要	■公共施設における再生可能エネルギーの導入等 27,863千円 公共施設への再生可能エネルギーの導入による脱炭素社会の理解促進、再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくりの実現に向けて、公共施設の屋根への太陽光パネル設置及び蓄電池の導入等を行い、再生可能エネルギーの理解促進を図る。 ○宮津阪急ビル ・エネルギー・設備利用状況及び現状の分析 ・導入候補とする再生可能エネルギー設備の選定等 ○宮津駅(駅舎) ・設計条件の精査 ・太陽光発電設備及び蓄電池設備の詳細設計 ・民間事業者と連携したエネルギー理解転換促進方法の検討等 ※国庫補助金の採択状況により事業内容を見直す可能性あり ■小中学生を対象とした環境学習 200千円(新規) SDGsプラットフォーム会員や関係機関と連携し、太陽光発電設備を導入する市内小中学校を対象とした環境教育を行い、再生可能エネルギーや地球温暖化など脱炭素社会の形成に向けた意識醸成を促す。 ■再生可能エネルギーの導入支援 4,560千円(充実) 住宅用太陽光発電システム、住宅用蓄電システム及び高効率給湯機器設備を同時設置する経費の一部を支援する。 ・(継続)住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援(FIT売電可) 100千円×1基 ・(充実)住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援(FIT売電不可) 420千円×3基 ・(継続)高効率給湯機器設備等導入支援 800千円×4基 ※売電から自家消費へのシフトを促すため、補助上限額についてFIT売電不可は引き上げ、FIT売電可は引き下げ		施策分野	環境					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	宮津市環境基本計画		R3~R12			
			R4	第2期学校施設整備年次計画		R5~R9			
			R4	宮津市学校施設長寿命化計画		R5~R14			
			期待される効果等	脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・二酸化炭素排出量(年間) R6:90,000t-co2 → R12:72,900t-co2 ・住宅用太陽光発電システム等設定支援数 R2~R6合計 9件 → R8~R12合計 25件 [参考] 太陽光発電システム 1基(4kw): 約1.7t-CO2/年の削減					
			担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係	45-1617	54			

事業名	ごみの減量・資源化促進事業 ～プラスチック等資源循環の促進等に関する条例「取組の具現化」～	充実	予算額	財源内訳																												
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																								
背景・経緯	・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 10: 「気候非常事態」宣言(与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 ・R5. 1: 宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の施行 ・R6. 2: 宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針(第1次)策定		7,210				7,200	10																								
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																												
目的・目標	環境基本計画及びプラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づき、廃棄物等の排出抑制や循環資源の再資源化などの促進を図り、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の実現を目指す。		5,277	繰入	自然環境保全基金繰入金			7,200																								
			(参考)前々年度決算額																													
事業概要	■ごみの減量化・資源化の推進 3,350千円 基本指針で定める資源循環の促進に向けた具体的取組を推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>これまでの取組み</th> <th>令和8年度の取組み</th> <th>今後の取組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収活動報奨制度 コンポストモニター制度の実施 資源一斉回収デーの実施 リユース事業者との協定 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コンポストモニター制度の継続実施 資源一斉回収デーの継続実施 ごみの現状把握(排出量実態調査、ごみ組成調査等) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コンポストの利用者の拡大(生ごみの削減) 地域住民等が主体となった資源回収の拡大 ごみの現状を踏まえ施策の展開 </td> </tr> <tr> <td>分かりやすい情報提供</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の活用 どこでも職員講座の実施 イベント等における啓発 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の充実 SDGs特設サイトの活用 イベント等における啓発 分かりやすいごみ分別の普及 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 様々な媒体・イベント等を活用した情報発信 観光客にも分かりやすい分別ルールの普及 </td> </tr> <tr> <td>海洋プラスチックごみ対策</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動 不法投棄対策 </td> </tr> <tr> <td>環境教育及び環境学習の推進</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 各学校等における環境教育 阿蘇海フェスタ・SDGsフェスタの実施 地元企業と連携した学習機会の創出(使い捨てカイロのリサイクルなど) </td> </tr> <tr> <td>食品ロスの削減</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減月間の啓発 旅館組合、観光協会とのポップ等の作成に向けた調整 食品ロス削減クッキングセミナーの開催(3/15) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事業者向け食品ロス講習会の実施 食品ロス啓発ポップの作成 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発 </td> </tr> </tbody> </table>		これまでの取組み	令和8年度の取組み	今後の取組み	廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収活動報奨制度 コンポストモニター制度の実施 資源一斉回収デーの実施 リユース事業者との協定 	<ul style="list-style-type: none"> コンポストモニター制度の継続実施 資源一斉回収デーの継続実施 ごみの現状把握(排出量実態調査、ごみ組成調査等) 	<ul style="list-style-type: none"> コンポストの利用者の拡大(生ごみの削減) 地域住民等が主体となった資源回収の拡大 ごみの現状を踏まえ施策の展開 	分かりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の活用 どこでも職員講座の実施 イベント等における啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の充実 SDGs特設サイトの活用 イベント等における啓発 分かりやすいごみ分別の普及 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な媒体・イベント等を活用した情報発信 観光客にも分かりやすい分別ルールの普及 	海洋プラスチックごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> 天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動 不法投棄対策 			環境教育及び環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各学校等における環境教育 阿蘇海フェスタ・SDGsフェスタの実施 地元企業と連携した学習機会の創出(使い捨てカイロのリサイクルなど) 			食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減月間の啓発 旅館組合、観光協会とのポップ等の作成に向けた調整 食品ロス削減クッキングセミナーの開催(3/15) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者向け食品ロス講習会の実施 食品ロス啓発ポップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発 	総計重要プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり	施策分野	環境
				これまでの取組み	令和8年度の取組み	今後の取組み																										
廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収活動報奨制度 コンポストモニター制度の実施 資源一斉回収デーの実施 リユース事業者との協定 	<ul style="list-style-type: none"> コンポストモニター制度の継続実施 資源一斉回収デーの継続実施 ごみの現状把握(排出量実態調査、ごみ組成調査等) 	<ul style="list-style-type: none"> コンポストの利用者の拡大(生ごみの削減) 地域住民等が主体となった資源回収の拡大 ごみの現状を踏まえ施策の展開 																													
分かりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の活用 どこでも職員講座の実施 イベント等における啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌、HP等の充実 SDGs特設サイトの活用 イベント等における啓発 分かりやすいごみ分別の普及 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な媒体・イベント等を活用した情報発信 観光客にも分かりやすい分別ルールの普及 																													
海洋プラスチックごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> 天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動 不法投棄対策 																															
環境教育及び環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各学校等における環境教育 阿蘇海フェスタ・SDGsフェスタの実施 地元企業と連携した学習機会の創出(使い捨てカイロのリサイクルなど) 																															
食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減月間の啓発 旅館組合、観光協会とのポップ等の作成に向けた調整 食品ロス削減クッキングセミナーの開催(3/15) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者向け食品ロス講習会の実施 食品ロス啓発ポップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発 																													
				【宮津市総合計画以外の計画】																												
				R3	宮津市環境基本計画	R3～R12																										
				R5	宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針(第1次)	R5～R12																										
				期待される効果等 脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会が実現し、将来へ良好な環境を引き継ぐ。 ごみの再資源化率【第7次総合計画KPI】 R元(基準)19.4% → R12(目標)25.0% 一人1日あたりごみ排出量【環境基本計画KPI】 H30(基準)972g → R12(目標)875g																												
																																
				担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係	45-1617	57																									
■宮津市廃棄物減量等推進審議会の開催 359千円 資源循環の促進等に関する基本的な指針の進捗管理等																																
■事務費(会計年度任用職員) 3,501千円																																

事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R02.12:デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(閣議決定) ・R02.12:デジタル・ガバメント実行計画(閣議決定) ・R02.12:自治体DX推進計画(総務省) ・R03.06:宮津市DX推進本部設置 ・R04.12:宮津市DX推進計画策定 ・R05.04:CIO補佐監設置 ・R05.09:CIO補佐監現地パートナー設置 ・R07.12:基幹業務システム(福祉系)を標準化 		61,588		1,450		51,045	9,093
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			43,810	府	きょうと地域連携交付金		1,450	
				諸	デジタル基盤改革支援補助金		51,045	
	(参考)前々年度決算額		46,043					
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用した市役所窓口サービス等の高度化・向上 ・DXを活用した新たな価値創造のための市役所内部業務の効率化・高度化 ・DXを活用した地域課題の解決・各政策の新たな展開 	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	—					
事業概要	<p>■市役所窓口サービス等の高度化・向上 ○行政手続きのオンライン化の拡大</p> <p>■市役所内部業務の効率化・高度化 53,301千円 ○自治体情報システム標準化・ガバメントクラウドへの移行等 (住民基本台帳、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、軽自動車税、国民健康保険、国民年金) 8業務</p> <p>■DXを活用した地域課題の解決・各政策の展開 ○医療MaaSの実施【健康・介護課】(再掲) ○生成AI英語アプリを活用した学習支援の実施【学校教育課】(再掲) ○行政MaaSの研究 おでかけ市役所の実施に向けた検討(再掲)</p> <p>■推進体制の強化 8,287千円 ○CIO補佐監(プロデューサークラス)の設置継続 ○外部人材の活用 ・株式会社SOARIGからの地域活性化企業人を配置(R7~)</p>	施策分野	—					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R2	第2期行財政運営指針				R2~R7	
		R8	宮津市DX推進計画2.0				R8~R12	
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「行かなくてもいい市役所」「書かない窓口」の実現 ・内部業務効率化・高度化による市役所の新たな価値の創造 					
		担当部署	総務部 総務課 情報推進係			45-1602		59

令和8年度DX推進の取組 ～開こう！デジタル宮津～

取組を継続

		これまでの取組	R8の取組	今後の取組
DX推進 重点施策   	市役所窓口サービスの高度化・向上 ・行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大 ・書かない窓口、手続きのワンストップ化 ・マイナンバーカード普及促進 	◆行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大 ・びったりサービス連携による手続きのオンライン化(子育て、介護、住民異動等約100手続き) ・申請様式の統一化・共通化(R6~7) ・公共施設予約案内システム導入 ・公式LINE充実 ・マイナンバーカードの普及・促進体制の強化 ・公共工事の電子入札開始	◆行政手続きのオンライン化のさらなる拡大(新電子申請システムサービスイン(府共同システム)数の増加) ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化に向けた準備 ・書かない窓口システム導入に向けた検討、実証	◆行政手続きのオンライン化のさらなる拡大(手続き数の拡大) ※500手続きのオンライン化を目指す ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化 ・書かない窓口システム導入 ・マイナンバーカード利用拡大 ・コンビニ交付の導入(R10目途)
	市役所内部業務の効率化・高度化 ・自治体情報システムの標準化 ・AI/RPAの導入拡大 ・内部事務の効率化、運用改善 ・テレワーク・リモートワークの拡大 ・セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化準備 ・生保システム標準化(R6) ・福祉系9システム標準化(R7) ◆AI/RPAの導入・拡大 ・RPA: 国保年金、介護保険、地域福祉、健康増進に導入(順次シナリオ数拡大) ・AI: 生成AI試行、LINE連携ツール内でチャットボットとして利用、AI文字おこしツールの導入(R6) ・生成AI利用ガイドライン策定 ◆内部事務の効率化・運用改善 ※R4~R6 約8,000時間を創出 ◆テレワーク・リモートワークの試行 ◆セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化対応 ・住民系8システムを標準システムへ移行 ・1システムの移行準備 ◆AI/RPAの導入拡大・RPA利用拡大 ・システム標準化と並行して拡大 ・生成AI利用の普及促進 ◆内部事務の効率化・運用改善 ・文書、財務事務ルールの見直し等アナログ改善の継続 ◆テレワーク・リモートワークの試行継続 ◆セキュリティ対策の継続	◆自治体情報システム標準化 R9: 全19業務システム標準化対応完了 ◆AI/RPAの導入拡大 取組継続 ◆内部事務の効率化・運用改善 ・文書事務の完全電子化の実現
	地域課題の解決・各施策の新たな展開 	◆スマート医療の実証 ・医療MaaS本格稼働(R7) ◆スマートモビリティの実証 ・グリーンスローモビリティの試行 ◆スマート観光の実証 観光DX(高付加価値化事業) ◆スマート農林水産業実現に向けて ・農業委員へのタブレット端末配置(農地調査の効率化) ・土地利用情報(農地、宅地)のデジタルデータ化 ◆保健業務のデジタル化 ・スマートフォンで妊娠・出産・子育ての情報を管理できる母子健康手帳アプリ「みやはぐ」を導入	◆スマート医療のサービス継続 ◆スマートモビリティのサービスイン ◆スマート観光の推進継続 ◆スマート農林水産業の研究 ◆スマート教育の推進 ◆行政MaaSの研究継続	◆スマート医療のサービス継続 ◆スマートモビリティのサービスイン ◆スマート観光の推進継続 ◆スマート農林水産業 ・AI等技術利用による生産力向上 ・新技術活用による生産者労務負担軽減 ◆スマート教育の推進 ◆行政MaaSの実現
計画の推進 	推進体制	DX推進計画策定(R4.12)⇒計画改定(R8.3) DX推進本部設置	■DX推進計画2.0の推進	■社会情勢の変化に合わせて推進体制を変革していく
	デジタル人材の育成・確保	外部人材の登用 (副業・兼業プロ人材活用、CIO補佐監配置) 職員研修の開催	◆CIO補佐監、地域活性化企業人の活用 ◆職員研修の開催	デジタル人材の育成継続 外部人材の活用

事業名	医療MaaS等の推進 (地域医療推進事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R3. 3: 宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置 R4. 2: 上記委員会から以下の内容を含む提言を受領 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン診療など新たな医療提供の検討 など R4. 8: 宮津市持続可能な地域医療推進協議会を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・医療MaaS、健康づくり研究事業に関することを協議 R4. 11: 医療MaaS実証事業を実施 (～R5. 2) R5. 12: 医療MaaS事業を実施 (～R6. 3) R7. 3: 医療MaaS車両購入 R7. 7: 医療MaaS事業本格稼働開始 		8,000	4,000			4,000	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			8,400	国 繰入	地域未来交付金 福祉基金繰入金			4,000 4,000
			(参考)前々年度決算額					
目的・目標	将来にわたり安心して医療を受けられる環境の維持及び安心して妊娠・出産できる環境づくりを推進するため、デジタル技術を活用したオンライン診療や産婦健診を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり				
事業概要	<p>■医療MaaS推進事業 8,000千円</p> <p>○車両を活用したオンライン診療・健診の更なる推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 通信機器や医療機器を搭載した車両が患者宅を訪問し、看護師等がサポートしながら、車内でオンラインにより診療等を受けられるもの。 ・実施回数 週1～2日(月8日)程度の実施を想定 ・対象者 ①慢性期疾患の方: オンライン診療 ②産婦の方: オンライン産後2週間健診 <p>○公民館等における集合型健康相談・診察の試行【新規】</p> <p>公共交通が脆弱な地域の公民館等の施設で、医師による集合型の健康相談や診察を試行し、新たな医療・健康づくりサービスの可能性を探るもの。</p> <p>○保健師による地域サロン活動等での高齢者への健康相談等の実施</p> <p>○集客イベント等における若年層への健康相談・保健指導の実施と周知</p> <p>■健康・医療連携会議の開催</p> <p>医療MaaSの推進のほか、健康寿命の延伸、保健事業の推進について、地域の医師等との連携を強化するもの。 年2回程度開催</p>		施策分野	健康・医療				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R6	第2次いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進プラン	R6～R10			
			R6	第10次宮津市高齢者保健福祉計画・第9期宮津市介護保険事業計画	R6～R8			
	期待される効果等		<ul style="list-style-type: none"> ・医療機会の確保 ・健康寿命の延伸 ・持続可能な地域づくり ・子どもを安心して妊娠し、出産できる環境づくり 					
			担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	45-1624	60・183		



事業名	議会運営に係るDX推進(議会運営事業)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 緯	議会DXに関する取組経過 ・R5.09:タブレット等の議場への持込を認め、ペーパーレス化実証開始(紙資料併用) ・R6.06:本会議・委員会の議案・資料等の完全ペーパーレス化(紙資料廃止) ・R6.06:宮津市議会DX推進計画を策定(R5~7年度) ・R7.06:議場等のネットワーク環境整備、ペーパーレス会議システムの導入 ・R8.02:宮津市議会DX推進計画2.0を策定(R8~12年度)		2,029					2,029	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目 的 標	・デジタル技術を活用することで、効率的な議会運営を行い、議会機能の最大限の発揮と市民に開かれた市議会の実現を図る。 ・危機管理の観点から災害等緊急時においても議会機能を維持・確保できる環境づくりを進め、業務改革を起点として、議会改革を推進する。		1,013						
			(参考)前々年度決算額						
事 業 要 概	■DX推進による議会機能の充実・運営の効率化 2,029千円 ○議員公用タブレット端末の導入 1,588千円 ・導入機種 iPad Wi-Fiモデル 台数:16台(議員12人+議会事務局職員4人) 附属品:タッチペン、キーボード等 ・導入時期 令和8年7月(改選後) ・その他 MDM(モバイルデバイス管理)の導入 (アプリの追加・削除、設定変更等、貸与端末を一元管理) ○DX推進の取組み 441千円 ・議場、委員会室等ネットワーク環境、ペーパーレス会議システムの運用 ・オンライン会議の推進、検討 ・議会SNSの充実 ・オンラインアンケートを活用した広聴の推進		23						
			総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	—					
			施策分野	—					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
				R8	宮津市議会DX推進計画2.0			R8~R12	
			期待される効果等	◆審査・政策立案など議会機能の向上 ◆多様な民意を市政に反映 ◆事務の効率化					
担当部署	議会事務局 議事調査課 議事調査係			45-1639	61				



令和8年度議会DX推進

取組を継続・推進

	これまでの取組	令和8年度の取組	令和8年度以降の取組
議会事務等の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■会議資料、各種通知文書等の電子化によるペーパーレスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催通知・各種案内文書の電子化 ・議案・議案参考資料等の電子化 ・一般質問・質疑通告提出の電子化・情報共有 ■グループウェア、スケジュール管理システムの導入による情報の一元化と合理化 <ul style="list-style-type: none"> ・本会議・委員会等のスケジュール管理と情報共有（Googleカレンダー活用） ■AI会議録作成支援システムの導入による法定事務等の合理化とデータの活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会会議録作成の所要時間の短縮化 ・委員会会議録の委員長報告・議会だよりへの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■会議資料、各種通知文書等の電子化によるペーパーレスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料等ペーパーレスの推進 ・議会事務の完全ペーパーレス化の推進 ■グループウェア、スケジュール管理システムの導入による情報の一元化と合理化 <ul style="list-style-type: none"> ・議会各種様式、先例集、執行部作成の各種計画書等資料の共有化 ■AIの業務利用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・文書作成におけるAI活用・効率化 ・情報収集等におけるAI活用・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■会議資料、各種通知文書等の電子化によるペーパーレスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・本会議出席簿の電子化 ・議会運営事務の電子決裁化 ■グループウェア、スケジュール管理システムの導入による情報の一元化と合理化 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的なシステム導入 ■AI会議録作成支援システムの導入による法定事務等の合理化とデータの活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・会議記録のデータベース化（庁内システムへの登録、議員用文書管理システムへの登録、検索システムの搭載）
議会運営の充実による議会機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■システム・タブレット端末の導入によるデジタル化議会運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス文書管理システムの導入 ・議員私費タブレットの活用 ■議場及び委員会室等のネットワーク環境の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・モバイルWi-Fiの機器整備 ■議案審議・政策立案等の強化充実 <ul style="list-style-type: none"> ・効率化による創出時間の議案審議や政策形成への有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム・タブレット端末の導入によるデジタル化議会運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス文書管理システムの執行部との共同運用 ・議員公用タブレットの導入 ■オンライン会議の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議開催の規程整備（ルールづくり）とオンライン会議の実現 ・行政視察に係るオンライン対応の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム・タブレット端末の導入によるデジタル化議会運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・請願等オンライン議会提出の実施 ・電子採決システムの導入 ・字幕付映像配信システムの導入 ■議場及び委員会室等のネットワーク環境の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・議場・委員会室AVシステムの整備 ・登退庁表示システムの整備 ・議案資料等の見える化（大型モニター設置） ■議案審議・政策立案等の強化充実 <ul style="list-style-type: none"> ・議案審査の運営改善見直し ・所管事務調査の充実改善による政策提言強化 ・議会・議員活動の検証改善の仕組み構築・実践
議会活動の透明性の向上と住民参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■議会SNSの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・求められる議会即時情報の発信の強化（Facebook、Instagramでの発信） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ライブ議会中継及び録画配信等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴可能な会議の全中継（本会議・委員会等） ・議案資料等の見える化（大型モニター設置） ・字幕付映像配信システムの導入 ■見える化の推進及び広聴機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン懇談会の実施 ・オンライン議会モニター制度の実施 ・オンラインアンケートを活用した広聴の充実 ・オンラインによる主権者教育の実施（小中学校生との交流、出前講座など）
災害時等緊急時の議会機能等の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ■災害等情報の共有・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・災害等情報の議員への迅速な発信と共有 ・議員が把握した各地域の被災情報等の集約 	<ul style="list-style-type: none"> ■議会機能の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時等緊急時を想定したオンライン会議の実現 	61

令和8年3月定例会 令和8年度当初予算・7年度3月補正一体予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	庁舎移転集約に向けた実施設計等 (庁舎整備事業、庁舎整備基金積立金)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景 経緯	R07.10: 庁舎整備事業(庁舎移転集約に向けた不動産取得準備、設計のための債務負担行為の設定)に係る「令和7年度9月補正予算」が可決		181,139			52,500	30,639	98,000	
	R07.11: 「宮津市役所位置の設定条例の一部改正」が可決		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
	R07.12: 「宮津市庁舎のミップルビル(宮津阪急ビル)移転・集約に関する『宮津市庁舎整備基本計画』実行協力の合意について」を締結 「財産(土地を含む宮津阪急ビル(ミップルビル))の取得について」が可決		193	市債	庁舎整備事業債		52,500		
			(参考)前々年度決算額	繰入	庁舎整備基金繰入金		17,500		
		174,000	財	庁舎整備基金利子		1,239			
			寄附	庁舎整備基金寄附金		11,900			
目的 目標	宮津市庁舎整備基本計画に基づき、宮津阪急ビル(ミップルビル)への庁舎移転集約を進めるもの。	総計重点プロジェクト	—						
		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
事業 概要	<p>■庁舎移転集約に向けた設計 70,000千円【令和8年度当初予算】 宮津阪急ビル(ミップルビル)のフロア改修等に係る設計を進めるもの (令和7年度9月補正予算 債務負担行為の活用) <設計期間>令和7年12月~令和9年3月</p> <p>※上記の設計に合わせ、アドバイザーを受けながら、オフィス・窓口レイアウトや職員の働き方改革、文書量調査等に順次取り組む予定 (令和7年度9月補正予算 債務負担行為の活用)</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月頃: 設計(フロア改修等の内容)を固めるための市民意見の聴取等 ・8月頃: 設計(フロア改修等の内容)の確定 ・令和9年3月頃: フロア改修等設計図書の完成 <p>※上記予算等により対応するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和9年8月: フロア改修等工事の開始(予定) ・令和10年秋頃: 新庁舎の供用開始(予定) <p>■庁舎整備に向けた基金造成 98,000千円【令和7年度3月補正予算】 13,139千円【令和8年度当初予算】 宮津阪急ビル(ミップルビル)のフロア改修等に向けた基金を積み立てるもの ※庁舎整備基金の令和8年度末残高見込み: 約448百万円</p>	施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R2	宮津市公共施設再編方針書				R2~	
			R7	宮津市庁舎整備基本計画				R7~	
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の改善による防災力の強化 ・集約化等による利便性の向上 						
			 						
		担当部署	総務部 総務課 情報推進係		45-1602		62		

事業名	新規	予算額	財 源 内 訳																																
			国庫支出金	府支出金	市 債	その他 一般財源																													
新し尿処理施設の整備 (し尿処理施設管理運営事業、新し尿処理施設整備事業) ・ S39 : し尿処理施設竣工 (S50増改築) 債務負担行為の設定 660,000千円 ・ R3. 7: 整備候補地の建設同意及び土質調査同意について地元(獅子自治会)と協議 ・ R3. 8: 土質調査について地元から同意を得る。 ・ R4. 9: 施設建設について地元から同意を得る。 ・ R5. 10: 施設整備に向けた都市計画及び下水道事業計画の変更 ・ R5: 新し尿処理施設整備に係る詳細設計委託(R5. 10~R6. 9) 現し尿処理施設の一部機能移設に係る詳細設計委託(R5. 12~R6. 7) ・ R6: 現し尿処理施設の一部機能移設工事契約 (R6. 12~R8. 11) ・ R8. 11: 現し尿処理施設の一部機能移設工事完成 (予定)		507,983	253,991		253,900	92																													
	(参考)前年度予算額	93,692	国	特定財源の内訳		253,991																													
	(参考)前々年度決算額	121,147	市債	社会資本整備総合交付金	253,900																														
				過疎対策事業債																															
目的・目標	し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図るため、新し尿処理施設(下水道希釈投入施設)の早期整備を推進する。		総計重点プロジェクト	—																															
事業概要 ■新し尿処理施設整備に向けた現し尿処理施設の一部機能移設 137,983千円 ○主な工事内容 危険物倉庫及び倉庫の新設、既設設備撤去、旧管理棟一部撤去等 ○工 期 令和6年12月~令和8年11月 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6決算</th> <th>R7決算見込</th> <th>R8予算</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能移設工事</td> <td>48,420</td> <td>91,779</td> <td>130,000</td> <td>270,199</td> </tr> <tr> <td>施工管理委託</td> <td>2,230</td> <td>10,060</td> <td>7,983</td> <td>20,273</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>50,650</td> <td>101,839</td> <td>137,983</td> <td>290,472</td> </tr> </tbody> </table> ■新し尿等投入施設建設工事(第1期) 370,000千円 総事業費 1,030,000千円 (内訳 R8当初予算:370,000千円+債務負担行為の設定(R8~10):660,000千円) ○主な工事内容 土木工事(既存施設の一部撤去、新施設に係る基礎工等)・建築工事(一部) ○工 期 令和8年9月~令和11年3月 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R8予算</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>370,000</td> <td>360,000</td> <td>300,000</td> <td>1,030,000</td> </tr> </tbody> </table> ※事業は地方共同法人日本下水道事業団(JS)との協定に基づき実施 【参考】(今後の予定) ・R10: 新し尿等投入施設建設工事(第2期 建築・電気・機械設備)(R10~R12)約17億円 ・R12: 新し尿処理施設の施設供用開始 新し尿等投入施設建設工事(第3期 整地・場内整備等)(R12~R14)約3.3億円		R6決算	R7決算見込	R8予算	計	機能移設工事	48,420	91,779	130,000	270,199	施工管理委託	2,230	10,060	7,983	20,273	合 計	50,650	101,839	137,983	290,472		R8予算	R9	R10	計	事業費	370,000	360,000	300,000	1,030,000	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり			
		R6決算	R7決算見込	R8予算	計																														
	機能移設工事	48,420	91,779	130,000	270,199																														
	施工管理委託	2,230	10,060	7,983	20,273																														
	合 計	50,650	101,839	137,983	290,472																														
		R8予算	R9	R10	計																														
	事業費	370,000	360,000	300,000	1,030,000																														
	施策分野	環境																																	
	【宮津市総合計画以外の計画】																																		
	H29	新し尿処理施設整備計画																																	
R元	生活排水処理基本計画				R元~R15																														
R5	京都市水環境構想2022				R5~R9																														
期待される効果等	し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定確保																																		
																																			
担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係 建設部 上下水道課 管理係・施設整備係		45-1617 45-1634	64・65																															

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

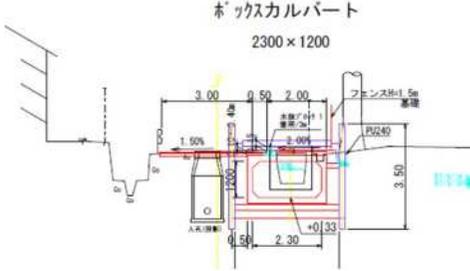
事業名	自治会集会施設の照明LED化支援と公の施設の省エネ(照明LED化)対策 (自治会集会施設LED化支援事業、小学校施設LED化事業・中学校施設LED化事業、市営住宅管理事業、杉末会館等管理運営事業)	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	・R7.12.16:国の令和7年度補正予算成立。 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者等に対し、地方公共団体が必要な支援を実施できるよう「重点支援地方交付金」の追加配分を決定。 ・光熱費を始めとする物価高の影響が長期化し、各公的施設等における施設管理コストが増加している。 ※「水銀に関する水俣条約」の改正により、照明用蛍光灯ランプの製造がR9年12月末で終了。照明器具のLED化が推奨されている。		47,000	47,000				0	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			-	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)			47,000	
			(参考)前々年度決算額						
目的・目標	物価高の影響による施設管理コストの増加に対して、施設の照明LED化を促進することで、施設管理経費の軽減及び利用環境の向上を図り、もって、施設利用や活動の維持及び活性化を目指す。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	—					
事業概要	■自治会集会施設の照明LED化支援 21,000千円 [所管:総務課] ◇補助対象施設 :自治会が所有又は管理する集会施設 ◇補助対象事業 :蛍光灯からLED照明へ移行に係る経費 ◇補助率 :10/10(上限300千円)/団体 ■公の施設の省エネ(照明LED化)対策 26,000千円 ○小学校・中学校施設の照明LED化(10年リース方式) 7,000千円 【債務負担行為の設定 R8~R17 限度額(支出予定上限額):63,000千円】 [所管:学校教育課] [実施箇所] ・小学校5校(宮津小、栗田小、吉津小、府中小、日置小) ・中学校2校(宮津中、栗田中) [学校施設の照明LED化率] ・小学校5校:42.5%、中学校2校:18.6% <参考>R5整備状況 小学校(普通教室219台、特別教室52台) 中学校(普通教室17台、特別教室26台) ○市営住宅共用部の照明LED化 15,500千円 [所管:都市住宅課] [実施箇所] ・宮村上団地 138基 ・東波路団地 54基 ○杉末会館の照明LED化 3,500千円 [所管:市民環境課] [実施箇所] ・施設内全121基	施策分野	—						
		【宮津市総合計画以外の計画】							
		R元	宮津市公営住宅等長寿命化計画			R元~R10			
		R4	宮津市学校施設長寿命化計画			R5~R14			
		期待される効果等	・消費電力の削減による電気料金の抑制 ・自治会活動の維持、活性化 ・公の施設等の利用環境等の向上 ・自然環境を守る脱炭素社会の推進						
		担当部署	総務部総務課情報推進係 教育委員会事務局学校教育課学校施設係 建設部都市住宅課建築住宅係 市民環境部市民環境課人権啓発係			45-1602 45-1662 45-1631 22-4622			70・71

令和8年3月定例会 令和8年度当初予算・令和7年度3月補正一体予算 事業等説明資料

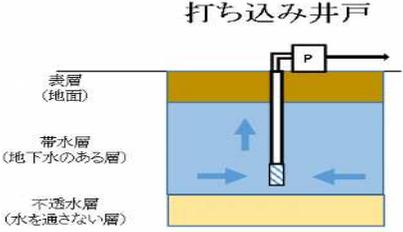
(単位:千円)

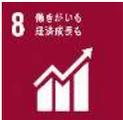
事業名	公共交通事業者のキャッシュレス化支援と物価高騰等支援補助 (公共交通事業者支援事業)	新規	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・市内公共交通事業者のキャッシュレス導入状況(R7.12末) 京都丹後鉄道 タッチ決済、QRコード決済導入済み 路線バス・タクシー 未導入 ・幹線バス運行経費の上昇状況 令和6年度経常費用388.57円/km⇒令和7年度経常費用492.77円/km(26.8%増)		9,054	9,054				0
			(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			9,054	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)			9,054
目 的 目 標	物価高騰や人件費上昇等により経営が圧迫されている市内交通事業者に対し、沿線自治体が協調して、公共交通のキャッシュレス化や幹線バス路線運行に係る経費上昇分を支援することで、省力化や生産性の向上、幹線バス路線の維持につなげ、市内公共交通の安定的な運行体制の確立を図るもの。		(参考)前年度決算額	—				
			—					
事 業 要 概	■公共交通キャッシュレス化支援補助金 1,678千円 物価高騰や人件費上昇の影響を受けている市内交通事業者の省力化による生産性の向上を図るため、交通事業者の実施するキャッシュレス化に対して支援を行う。 ○路線バスキャッシュレス化 1,125千円 ・キャッシュレス化に係る経費の一部を支援 ・沿線市町の協調支援 ○タクシーキャッシュレス化 553千円 ・キャッシュレス化に係る経費を支援 ・補助対象見込台数 18台 ・舞鶴市も同様のスキームで支援を実施予定 ■路線バス物価高騰等支援補助金 7,376千円 物価高騰や人件費上昇の影響を受けている路線バスの安定した運行を確保するため、交通事業者に対して支援を行う。 ・R7年度運行経費のうちR6年度からの物価高騰分の一部を支援 ・沿線市町の協調支援		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	公共交通				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画			R4～R8	
			R3	宮津市地域公共交通計画			R4～R8	
			安定的で持続可能な公共交通の確立 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・公共交通利用者数 R6:176.3万人 ⇒ R12:195.0万人					
			期待される効果等	 				
担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係			45-1664		72・73		

事業名	道路新設改良事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備する。		135,978	41,393		92,400		2,185
	H24 橋梁長寿命化修繕計画の策定		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
	H25 道路ストック点検実施		95,775	国	道路整備事業費補助金			41,393
	H26 宮津市通学路等交通安全対策協議会を設置			市債	辺地対策事業債			21,000
	H26 宮津市通学路等交通安全プログラム策定		(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債			29,600
H26~ 橋梁定期点検実施 (R6~3巡目点検)			市債	道路整備事業債			41,800	
H30~ トンネル定期点検実施 (H30:1巡目、R5:2巡目)			168,987					
目的・目標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境の向上を図る。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
事業概要	■橋梁長寿命化・危険法面对策の推進 92,500千円 ○橋梁長寿命化対策 33,000千円 ・城東惣1号橋ほか15橋 20,000千円 断面補修 ・橋梁定期点検(46橋) 13,000千円 法定点検 ○法面等対策 59,500千円 ・小田辛皮線 20,500千円 法面对策 ・浦館線 39,000千円 法面对策		施策分野	社会基盤・防災減災				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H24	宮津市橋梁長寿命化修繕計画			H24~	
			H26	宮津市通学路等交通安全プログラム			H26~	
			安全・安心・快適に過ごし続けられる暮らしの基盤の向上 ○児童・生徒の安全な通学環境の確保 ○道路利用者の安全確保					
			[第7次宮津市総合計画数値目標] ○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕の実施率 R6(現況):15.2% ⇒ R12(目標):31.7%					
			期待される効果等	 				
危険法面对策 		橋梁断面補修 		担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629	76・127

事業名	総合的な治水対策の推進 (河川整備事業、都市下水路整備事業、都市下水路管理事業 排水機場整備事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ 頻繁に発生する浸水被害 (床上・床下浸水・道路冠水) H16 台風23号 H29 台風18号・台風21号 H30 7月豪雨・台風24号 ・ 宮津市国土強靱化地域計画策定 (R1) ・ 城東・辻町地区の流量調査 (R6) ・ 宮津市総合計画に基づく河川整備 (滝馬川:R7完成)	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 債務負担行為の設定 97,000千円 </div>	152,000			145,500		6,500
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			98,700	市債	河川整備事業債		57,000	市債
目 的 ・ 目 標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、浸水被害の軽減を図る。		(参考)前々年度決算額	127,097	市債	排水機場整備事業債	14,500	
			総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
事 業 概 要	■総合的な治水対策の推進 152,000千円 ○河川整備事業 57,000千円 (R8~R9: 債務負担行為の設定 53,000千円) ・ 辻川河川整備事業 カルバート工 L=88m  		策 略	社会基盤・防災減災				
			【宮津市総合計画以外の計画】	R元	宮津市国土強靱化地域計画策定			R元~
			期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・ 緊急性の高い河川の整備 R6(現況):0河川 ⇒ R12(目標):2河川				
			9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を			
			○都市下水路整備事業 66,500千円 (R8~R10: 債務負担行為の設定 44,000千円)	・ 市街地流量解析 12,000千円 (R8~R10) 市街地40.4ha 流量解析 ・ 由良地区浸水対策 30,500千円 (R8~R9) カルバート工 L=54m ・ 須津地区浸水対策 24,000千円 側溝工L=117.4m				
			○都市下水路管理事業 12,000千円 (新宮・西波路下水路の改修、都市下水路施設の浚渫)	・ 都市下水路維持管理				
			○排水機場整備事業 16,500千円 (屋上防水工事、操作盤電子機器更新、除塵槽浚渫)	・ 排水機場の整備				
担当部署	建設部土木管理課 土木係		45-1629	77~79				

事業名	新規就農者育成支援事業	充実	予算額	財 源 内 訳										
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度 国「青年就農給付金」制度創設 ・H29年度 「農業次世代人材投資資金」に改名 ・R元年度 年齢要件緩和（45歳未満から49歳以下へ引き上げ） ・R4年度 「経営開始資金（新規就農者育成総合対策）」に改名 ≪H24～R7年度国制度活用実績：23人（うち夫婦2組4人）≫ 		14,576		14,476			100						
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳										
目的・目標	経営開始段階の青年就農者に資金を交付し、農業経営が不安定な時期の所得を確保するとともに、就農後の経営発展のために機械・施設等の導入を支援することにより、将来的な農業経営の安定化と地域への定着を支援する。 また、青年就農者の稼ぐ力を高めるため、「地産外商」を促進支援する。		24,976	府	新規就農者育成総合対策事業費補助金			14,476						
			(参考)前々年度決算額											
事業概要	<p>■就農直後の経営確立・発展の支援（新規就農者育成総合対策）14,476千円</p> <p>○経営開始資金等の交付 10,575千円 就農直後の経営確立を支援する資金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 農業経営を開始した青年農業者（就農時49歳以下） 8件(10人)…継続者：個人5人、夫婦型2組(4人) 新規：個人1人（見込み） ・交付額 ▽「農業次世代人材投資資金」採択者（令和3年度） 1～3年目1,500千円/年・人 4～5年目1,200千円/年・人 ▽「経営開始資金」採択者（令和4年度以降） 1,650千円/年・人（交付期間：最長3年）※国制度単価の見直し ※夫婦型の場合、いずれの資金も上記交付額の1.5倍 <p>○経営発展に対する支援 3,750千円 就農後の経営発展のための機械等の導入を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 農業経営を開始した青年農業者（就農時49歳以下）1名（見込み） ・交付額 3,750千円 <p>○事務費 151千円</p> <p>■新規就農者の販路拡大 100千円【新規】 新規就農者等の地産外商の取組を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府農林水産フェスティバル等への新規就農者によるPRブース出展などを支援 	 <p>[R7実績] 畝立て整形機の導入を支援</p>	総計重要プロジェクト	—	テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり	施策分野	農林水産業振興	【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の就農意欲の喚起、地域への定着 ・地域農業の中核的な担い手の確保・育成 <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年⇒R6:4人/年⇒R12:3人/年 	担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係	45-1626	94						

事業名	農業基盤整備等推進事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	農業用施設の老朽化に加え、特に近年は気候変動に伴う高温・渇水などが発生していることから、安定した農業生産を行う基盤整備等の推進が求められている。		11,508	2,000	1,000	1,300	5,053	2,155
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	営農に不可欠な用水確保のための水路の改修などの農業生産基盤の保全を図るとともに、農業者等が共同で行う農道・水路の改修や渇水時に備える用水確保の取組を推進し、持続的かつ安定的な農産物の生産を図る。		(参考)前々年度予算額	国	地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)		2,000	
			10,167	府	きょうと地域連携交付金		1,000	
			(参考)前々年度決算額	市債	農業基盤整備事業債		1,300	
			11,989	諸分負	土地改良施設維持管理適正化事業交付金		3,500	
事業概要	■農業用排水路等生産基盤の改修 6,100千円 ○須津地区宮ノ下用排水路改修工事(3年目:最終年度) ○松尾地区農業用水路改修工事【新規】 (※防災減災機能強化に向けた土地改良施設維持管理適正化事業)		総計重要プロジェクト	—				
	■農業者等が共同で行う基盤整備等の支援【充実】 4,000千円 ○通常分(農業用排水路改修、農道舗装等) 実施主体:農家組合等 補助率:1/2 事業費:2,000千円(4,000千円×1/2) ○渇水対策分 実施主体:農家組合等 補助率:1/2 ①井戸掘削(付属品含む) 事業費:1,500千円(300千円×10本×1/2) ②エンジンポンプ購入(付属品含む) 事業費:500千円(100千円×10件×1/2)		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
	■その他 1,408千円 ・土地改良施設維持管理適正化事業拠出金、原材料費等		施策分野	農林水産業振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	・農産物の安定生産・供給及び農村集落の維持・活性化  				
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係・産業基盤係		45-1627		98

事業名	有害鳥獣対策事業	継続	予算額	財 源 内 訳																						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.11～：ニホンジカ狩猟に対して奨励金（シカ捕獲強化事業）を開始 ・H26.7～：鳥獣被害対策実施隊によるニホンザルパトロール（追払い・捕獲）を開始 ・R2.4～：宮津市有害鳥獣処理施設稼働、処理業務を猟友会に委託 ・R5.10～：有害捕獲個体（一般廃棄物）の一部市外処分を開始（R6.4～直営化） ・R7.9～：緊急銃猟制度の運用開始 		38,698		15,701		22,900	97																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																						
			37,462	府	緑の公共事業補助金		12,681																			
目的・目標	恒常的に発生している野生鳥獣被害に対応するため、駆除業務を委託するとともに、捕獲個体を処分する処理施設を適正管理する。 また、有害鳥獣駆除活動を安定的に実施することで、鳥獣による農業被害、生活環境被害の軽減を図る。		(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金		2,640																			
			36,476	府	事務委任交付金		380																			
				繰入	自然環境保全基金繰入金		22,900																			
事業概要	■有害鳥獣駆除業務 14,670千円【充実】 ○駆除頭数 イノシシ・ニホンジカ1,150頭（うちジビエ活用250頭） 【新規】 括り罠捕獲を推進するための掛増し経費を加算（銃止め刺し弾代相当） [農業被害額の推移] <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(速報)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額</td> <td>5,746</td> <td>10,002</td> <td>14,637</td> <td>7,729</td> </tr> </tbody> </table> (単位:千円) ■有害鳥獣処理施設・冷凍庫の運用管理 12,554千円 ○賃金、需用費、委託料（廃水処理、臭気水質測定、施設警備）など [処理予定量] <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>市処理施設</th> <th>市外処理</th> <th>処理量合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R8予定</td> <td>約15 t (投入150回)</td> <td>約12 t</td> <td>約27 t</td> </tr> <tr> <td>R7見込</td> <td>約13 t (投入126回)</td> <td>約10 t</td> <td>約23 t (R6繰越1.5 t 含)</td> </tr> </tbody> </table> ■有害捕獲個体の市外処分 5,280千円 ○有害鳥獣処理施設の処理量を上回る捕獲個体を市外業者により処分 ■シカ捕獲強化事業 2,000千円 ○狩猟期におけるシカ捕獲に対し1頭4千円（上限20頭/人）の報奨金を支給 ■鳥獣被害対策実施隊活動 3,710千円【充実】 ○ニホンザル追払い、ツキノワグマ予察・被害防止捕獲、巻狩り 【充実】 活動単価の見直し（クマ捕獲単価、活動単価を引き上げ） ■担い手育成確保事業 245千円 ○猟銃（初めて所有する散弾銃）の購入を支援 1件 ○狩猟免許取得等を補助（講習受講料1/2、受験手数料全額） 4件 ■緊急銃猟制度の運用 239千円【新規】 ○生活圏に侵入した緊急対応が必要なイノシシ・ツキノワグマを駆除 [参考] 宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会による対策 ・防護柵 6地区（12.9km、27,345千円）		年度	R4	R5	R6	R7(速報)	金額	5,746	10,002	14,637	7,729		市処理施設	市外処理	処理量合計	R8予定	約15 t (投入150回)	約12 t	約27 t	R7見込	約13 t (投入126回)	約10 t	約23 t (R6繰越1.5 t 含)	総計重要プロジェクト	—
			年度	R4	R5	R6	R7(速報)																			
			金額	5,746	10,002	14,637	7,729																			
				市処理施設	市外処理	処理量合計																				
			R8予定	約15 t (投入150回)	約12 t	約27 t																				
			R7見込	約13 t (投入126回)	約10 t	約23 t (R6繰越1.5 t 含)																				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり																						
			施策分野	農林水産業振興																						
			【宮津市総合計画以外の計画】																							
			R4	宮津市鳥獣被害防止計画	R5～R7																					
期待される効果等	・農作物生産の安定化 ・農業・農村の維持																									
	   																									
担当部署	産業経済部 農林水産課 農地活用係	45-1645	100																							

事業名	漁業の担い手確保・育成と振興 (新規就漁者育成支援事業、強い水産業づくり支援事業)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・H27.4: 京都府海の民学舎が開設 ○1~10期生6名が本市で就業 (栗田地区3名、養老地区3名) ※R8予定を含む ○11期生1名が養老地区で2年目研修をR8開始予定 ・H29.7: 宮津市漁業担い手漁船・漁具リース事業の開始 ○活用件数 H30:2件、R2:1件		2,380				1,430	950
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			1,380	繰入	人材育成基金繰入金		1,000	
目的・目標	漁業の後継者を育成する実践型研修機関を運営するとともに、新規就漁者の漁船・漁具の整備を支援し、漁業の担い手の育成・確保を図る。 また、漁業者が行う原木漁礁の設置や漁場整備を支援するもの。		(参考)前々年度決算額					
			1,360					
事業概要	<p>■漁業の担い手に対する漁船・漁具の整備支援 1,000千円【充実】</p> 新規就漁者にリースする中古漁船等を購入・整備する費用を支援 ○補助対象者 京都府漁業協同組合 (リース対象者1名) ○補助金額 1,000千円 (補助対象経費(上限3,000千円)の1/3以内) <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[漁船漁具所有者] -- 購入 --> B[宮津市1/3] A -- 購入 --> C[京都府1/3] B --> D[京都府漁業協同組合] C --> D D -- リース --> E[新規就漁者] E -- 使用料 --> D </pre> </div> <p>■実践型研修機関「海の民学舎」の運営 430千円</p> ○運営主体 海の民学舎運営協議会 (漁業団体、京都府、沿海市町で構成) ○内 容 ①新規就業者育成講座事業 [1年目]海洋センター等で講義・実習による漁業の知識と技術を習得 [2年目]漁村に定住し、漁業現場で実地研修 ②経営力向上講座等事業 海の民学舎生や若手漁業者等を対象とした経営力向上講座等の開催 ○市負担金 430千円 (①120千円/市町+②310千円/市町) <p>■原木漁礁の沈設・漁場整備 (ガレキ等の除去) の支援 950千円</p> ○補助対象者 京都府漁業協同組合 ① 原木漁礁沈設支援 500千円 (補助対象経費2,297千円×府:1/2、市:府補助残×4/10) ② 漁場整備負担割合 450千円 (補助対象経費900千円×1/2 (市))	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
		施策分野	農林水産業振興					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		期待される効果等	・漁業者の確保と漁村の維持 ・漁業経営の安定 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年⇒R6:4人/年⇒R12:3人/年					
		担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係			45-1626	101・102	

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	国際交流推進事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	R2:総務省「地域における多文化共生推進プラン」の改定 R5:外国人市民向けに交通事故防止・火災対策研修を開催 外国人市民向けHPの立上げ、やさしい日本語ごみ分別リーフレットの作成 R6:ネルソン市への学生訪問団派遣、デルレイビーチ市からの学生訪問団の受入れ R7:デルレイビーチ市への学生訪問団派遣、日本語教室の開催		3,022		1,400		0	1,622
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			6,530	府	京都府地域日本語教育推進事業費補助金	160	府	きょうと地域連携交付金
目的・目標	・多様な文化に対する理解を深める機会を提供し、国際感覚豊かな青少年の育成及び子育て・教育環境の充実を図る。 ・外国人市民も暮らしやすい環境づくりを進め、地域で住民と一緒に安心して暮らせる秩序ある共生社会を築く。		(参考)前々年度決算額					
			3,592					
事業概要	■国際感覚豊かな人づくり 2,484千円 ・ネルソン市との提携50周年に係る交流 2,433千円 ・デルレイビーチ市との提携50周年記念品準備 51千円 ※参考 宮津市の姉妹友好都市 ・ネルソン市(ニュージーランド) ※昭和51年提携 ・デルレイビーチ市(アメリカ) ※昭和52年提携 ・秦皇島市(中国) ※昭和62年提携  写真: R7デルレイビーチ市への学生訪問団派遣 ■共生のための環境づくり 538千円 <共生推進計画(仮称)の策定> ・計画策定に係る事務費 72千円 <コミュニケーション・生活支援> ・外国人に向けた日本語・暮らし方教室の開催 320千円 <意識啓発> ・共生のための理解を深める市民向けセミナー 146千円		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	地域コミュニティ				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	国際的な視野を持った青少年の育成 外国人とも共生できる環境づくり 				
			担当部署	総務部 総務課 総務秘書係			45-1604	121

令和8年3月定例会 令和8年度当初予算・令和7年度3月補正一体予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	持続可能な公共交通の実現に向けて (公共交通空白地有償運送支援事業・地方バス路線運行維持対策事業・ KTR支援事業・地域交通政策事業)	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4. 3: 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画策定 (計画期間: R4年度~R8年度) ・R6. 1: 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画策定 (計画期間: R5年度~R16年度) ・R6. 12: 北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画認定 (計画期間: R7年度~R16年度) ・R7. 4: 北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画に基づき、引き続き、北近畿タンゴ鉄道(株)が鉄道施設を保有し維持管理を行い、ウィラートレイنز(株)が京都丹後鉄道の運行を行う上下分離方式による運営を実施 		437,105	120,597	5,600	284,900	5,600	20,408
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			370,409	国	地域公共交通再構築事業費補助金	120,597	府	きょうと地域連携交付金
目的・目標	持続可能な公共交通を確立し、移動しやすいまちづくりを進めるため、地域の基幹的な公共交通であるバス及び鉄道の運行維持や公共交通空白地有償運送への支援等を行うとともに、地域公共交通計画に基づく利用促進の取組等を推進する。		(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債	284,900		
			353,196	繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金	5,600		
事業概要	<p>■公共交通空白地有償運送等への支援 11,306千円 地域住民の移動手段確保のため運行する公共交通空白地有償運送への支援及び栗田地区における200円タクシー事業を実施するもの</p> <p>■幹線バスの維持 56,000千円 市民や観光客等の移動の足である幹線バス路線を維持するため、沿線市町で協調し、幹線バス運行について支援するもの ・対象路線: 伊根線・蒲入線・与謝線</p> <p>■鉄道の維持 369,100千円 ○鉄道施設等の整備 279,400千円(R7.3補正分21,488千円+R8当初分257,912千円) 北近畿タンゴ鉄道(株)の保有する電路・線路・駅ホーム設備等の整備、車両更新、車両検査等に対して沿線自治体で協調支援するもの ○鉄道施設の基盤維持 89,656千円 北近畿タンゴ鉄道(株)の鉄道基盤維持費用を沿線自治体で協調支援するもの ○北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会負担金 44千円 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画の評価等にかかる協議会等の開催に係る負担金</p> <p>■公共交通の利用促進 699千円 ○たんとつこどもまつりin宮津駅の開催 75千円 子ども達が公共交通に親しむとともに乗り方等を学べるイベントの開催 ・場 所: 宮津駅 ・内 容: 鉄道乗り方教室、子ども切符づくり、体験イベントほか ○バス・鉄道お絵かきコンテストの開催 136千円 ・対 象: 市内小学生、幼稚園、保育園児 ○宮津市地域公共交通会議の運営 488千円 「宮津市地域公共交通計画」の改訂や進捗管理、新たな交通手段の導入に向けた「先進モビリティサービス検討部会」における合意形成や具体的取組の検討を進めるもの</p>	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
		施策分野	公共交通					
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画	R4~R8			
			R3	宮津市地域公共交通計画	R4~R8			
			R5	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画	R5~R16			
			R6	北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画	R7~R16			
		期待される効果等	・鉄道及びバスを基軸とした持続可能な公共交通の確立 【第7次宮津市総合計画 分野別数値目標】 ・200円バス(幹線バス)利用者数 R6:339千人 ⇒ R12:340千人 ・京都丹後鉄道利用者数 R6:1,420千人 ⇒ R12:1,605千人 ・交通空白地有償運送利用者数 R6:4,045人 ⇒ R12:4,500人 ・交通空白地有償運送利用者の満足度 R7:90.5% ⇒ R12:100%					
		担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664	151~154		



事業名	社会福祉協議会への支援の拡充 (社会福祉協議会活動推進事業・生活困窮者自立支援事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> S29.9:宮津市社会福祉協議会の設立 S44.4:社会福祉法人化 S48年以降:公共施設の管理をしながら地域福祉活動を実施(平成18年度以降は指定管理者に認定) ◇H31.3月迄 宮津市福祉センター、H31.4月から 宮津市地域ささえあいセンター(旧保健センター)を管理 R2~R4「第1期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」 R7~R9「第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」遂行中 		30,458	5,748			11,200	13,510		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			23,742	国	生活困窮者就労準備支援費等補助金		1,335			
目的・目標	社会福祉活動の推進を目的とする宮津市社会福祉協議会の運営に必要な財政支援を行うことで安定した経営基盤を構築し、社協の地域福祉活動の活性化とともに市民の福祉の向上を図る。		(参考)前々年度決算額	繰入	福祉基金繰入金			11,200		
			17,366							
			総計重要プロジェクト	—						
事業概要	<p>■社会福祉協議会運営補助金 22,570千円 地域福祉の中核である宮津市社会福祉協議会の運営、地域福祉事業への補助</p> <p>①補助率格差の是正:基本補助率を70%に統一 (法人運営、市老連事業に係る人件費補助率50%→70%)</p> <p>②重点課題の推進:ボランティア振興事業費(人件費含)への補助率を引き上げ (補助率70%→80%)</p> <p>③人材の確保及び有効活用:下記のとおり</p> <p>■社会福祉協議会への委託</p> <p>○生活困窮者への支援の充実 7,888千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業 5,885千円(既存) 生活の困りごとや不安を抱える問題を把握し、相談者に寄り添いながら自立に向けた支援の実施 就労準備支援事業 298千円(追加) 長期離職者やひきこもりの就労に向けた準備、社会参加に向けた支援の実施 家計改善支援事業 1,705千円(追加) 家計に抱える問題を明確にし、生活の再生に向けたプランづくりや伴走支援の実施 <p>○子育て世帯への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> つながり資源・ひろがる子育て支援事業【再掲】 (令和8年度当初予算 事業等説明資料No.29参照) 		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり						
			施策分野	地域福祉						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R6	第2期宮津市地域福祉計画					R6~R10	
			R6	第10次宮津市高齢者保健福祉計画					R6~R8	
			期待される効果等	社会福祉協議会の運営の安定化とともに、社会福祉協議会と連携した地域福祉活動の促進と市民の福祉の向上を図る。						
			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係・生活支援係		45-1618	161・162			



令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	予防接種事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・R6. 4. 1: 新型コロナウイルス感染症が予防接種法上の定期接種に位置付け (B類) ・R7. 4. 1: 帯状疱疹が予防接種法上の定期接種に位置付け (B類) ・R7. 11. 19: 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、RSウイルス感染症を予防接種法上の定期接種に位置付け (A類)、令和8年4月1日から定期接種の対象とすることを了承。		66,842		4,480			62,362
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			49,784	府	予防接種事故対策費補助金	4,459		
目的・目標	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を実施し、市民の健康の保持に努めるもの。		(参考)前々年度決算額	70,685				
			総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり				
事業概要	■定期接種委託料 58,864千円 与謝医師会に接種を委託し、各医療機関において接種を実施。1市2町以外の府内医療機関においても接種可能。 ○A類疾病 自己負担なし ・5種混合 (ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風、Hib感染症) ・2種混合 (ジフテリア、破傷風) ・麻しん・風しん ・日本脳炎 ・BCG ・肺炎球菌感染症 (小児) ・子宮頸がん ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症 ・RSウイルス (新規: R8. 4. 1~) 妊娠28週以降38週に至るまでの妊婦に1回接種 <RSウイルスの概要> 潜伏期間は2~8日とされており、軽い風邪の症状から重い肺炎まで様々だが、特に乳児期早期 (生後数週間~数か月間) においては、肺炎等の下気道感染症に至る場合がある。 ○B類疾病 自己負担あり (金額) は自己負担額 ・インフルエンザ (主に65歳以上) (1,500円) ・肺炎球菌感染症 (主に65歳) (4,000円程度) ・新型コロナウイルス感染症 (主に65歳以上) (5,000円) ・帯状疱疹 (主に65歳) (生ワクチン3,000円、組換えワクチン7,000円) ■その他経費 7,978千円 RSウイルス予防接種対応に係るシステム改修経費、予防接種事故障害年金 等	施策分野	健康・医療					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R6	第2次いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進プラン				R6~R10	
		期待される効果等	新生児、乳幼児及び高齢者に対して定期予防接種を実施することにより、感染症の発生及びまん延の予防と、個人の発病とその重症化防止に資するもの。 					
		担当部署	健康福祉部健康・介護課 健康増進係			45-1624	189	

事業名	地域医療人材の確保対策 (医師確保対策事業、看護師等確保対策事業、医療技術職確保支援事業)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.10：宮津市地域医療確保奨学金等の貸与制度の創設 ・H27. 4：宮津市看護師等修学資金の貸与制度の創設 ・R 5. 4：宮津市医療技術職確保奨学金返還支援補助金制度の創設 		14,520				14,476	44
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			13,800	繰入	福祉基金繰入金			6,200
目的・目標	奨学金を貸与することなどにより、京都府立医科大学附属北部医療センター等の地域医療機関に勤務する医師、助産師、看護師及び医療技術者を確保し、地域医療の充実を図る。		(参考)前々年度決算額	諸	医師確保奨学金事業費町分担金		2,080	
			13,090	諸	看護師等確保奨学金事業費町分担金		5,780	
				諸	医療技術職確保奨学金返還支援事業費町分担金		416	
			総計重要プロジェクト	—				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市地域医療確保奨学金等の貸与 3,600千円 (1市2町共同事業) 専門研修医、臨床研修医、大学院医学履修課程在学医師、又は大学医学履修課程在学学生で、北部医療センター等において医師として従事する意思を有するものに、無利息で奨学金等を貸与。 ・貸与額 1人当たり150,000円/月×12月 (2名分) (返還免除) 専門研修、臨床研修の修了後又は大学院修了後(大学生は、医師免許を取得し、卒業後の臨床研修の修了後)、貸与相当期間に3年を加えた期間内において、医師として北部医療センター等に貸与相当期間従事した場合は、奨学金等の全額の返還を免除。 ■宮津市看護師等修学資金の貸与 10,200千円 (1市2町共同事業) 助産師や看護師(以下「看護師等」とする。)を養成する大学、看護学校等に在学する者で、北部医療センター等において看護師等として従事する意思を有するものに、無利息で修学資金を貸与。 ・貸与額 1人当たり1,000,000円/年(北部医療センター 10人分) 1人当たり 200,000円/年(宮津武田病院 1人分) (返還免除) 卒業後に看護師等の免許を取得し、直ちに北部医療センター等に看護師等として従事し、引き続き貸与相当期間従事した場合は、修学資金の全額の返還を免除。 ■宮津市医療技術職確保奨学金返還支援補助金 720千円 (1市2町共同事業) 薬剤師、臨床検査技師等の医療技術者として北部医療センターに勤務する医療技術者で、大学等で奨学金の貸与を受けていたものに対し、奨学金の返還を支援。 ・補助金額 1人当たり30,000円/月×12月 (2名分) 	テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
		施策分野	福祉医療人材育成					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・北部医療センター等における医師、看護師等、医療技術者の確保による地域医療の維持、充実。 ・丹後圏域における医療人材の確保。 					
		担当部署	健康福祉部健康・介護課 健康増進係		45-1624	191・192		

事業名	図書館管理運営事業	充実	予算額	財源内訳								
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源				
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H4.9 移動図書館車「はまなす文庫」巡回開始 ・H13.12 子どもの読書活動推進に関する法律公布・施行 ・H18.3 「宮津市子どもの読書活動推進計画～智恵の輪読書プラン～」策定 ・H28.3 「第二次宮津市子どもの読書活動推進計画～智恵の輪読書プラン～」策定 ・H29.11 宮津市福祉・教育総合プラザ3階に移転開館 ・R4.10 宮津市立図書館開館100周年、移転開館5周年 ・R6.9 図書館情報システム更新、リクエストのインターネット申込開始 ・R8.3 「第三次宮津市子どもの読書活動推進計画～智恵の輪読書プラン～」策定 		36,166		4,270		3,000	28,896				
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳								
			36,008	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		1,800					
			(参考)前々年度決算額	府	さよと地域連携交付金		2,470					
		繰入	教育基金繰入金		3,000							
		32,470										
目的・目標	本市における「生涯学習の拠点施設（地域の知の拠点）」として、市民が必要とする資料や情報の提供を通じて、生涯にわたる学習機会を支え、豊かな市民生活の実現を図る。		総計重要プロジェクト	—								
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり								
事業概要	<p>■図書館の管理運営 33,257千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般書の購入、小中学校への配本や団体貸出 ○企画展示（2～3コーナー、毎月更新） ○SNS等による図書館の情報発信 ○ヤングアダルトコーナー（中高生向け） <ul style="list-style-type: none"> ・中高生による「おすすめ本」展示 ・交流掲示板の活用 ○図書館職員の配置（会計年度任用職員12名） <p>■移動図書館車「はまなす文庫」の運行 209千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○16ステーション巡回による図書貸出 ○小学校、幼稚園等への訪問（おはなし会、貸出） <p>■児童書・子育て支援本コーナーの充実 2,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童書、子育て支援本、大型絵本等の購入（1,000冊） ○絵本作家講演会 ○科学絵本による子ども実験講座 ○読書スタンプカード、読書手帳の作成 ○おはなし会（小学生や幼児対象、毎週土曜日） ○あかちゃんおはなし会「めばえ」（0～2歳対象、毎月第3木曜日） 		 		施策分野	社会教育						
					【宮津市総合計画以外の計画】							
					R7	第三次宮津市子どもの読書活動推進計画	R8～R12					
					R7	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画	R8～R12					
					期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者や図書の貸出冊数の増加 ・子どもから大人までの発達段階や学習ニーズに応じた読書機会の創出 						
								  				
担当部署	教育委員会事務局 図書館					22-2730	196					

事業名	中学校部活動改革推進事業	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	<国(スポーツ庁)の動き> ・H30.3:持続可能な部活動に向けたガイドラインの策定 ・R2.9:学校の働き方改革を踏まえ、R5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行を推進 ・R4.6:R5~R7年度を改革推進期間とし、実証事業を開始 ・R4.12:学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインの策定 <京都府の動き> ・R3.7:京都府地域部活動推進検討委員会設置。スポーツ庁の「地域部活動推進事業」を活用し、「休日の部活動の段階的な地域移行」について、実践研究を事業化 ・R6.3:京都府学校部活動及び地域クラブ活動推進指針を策定 <宮津市の動き> ・R4.8~:部活動の地域移行に向けて検討開始、外部団体等との懇談、アンケート調査 ・R6.4~:部活動検討委員会設置要綱を整備、部活動検討委員会を開催、実証事業開始		3,470		1,982		1,400	88		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			2,550	府 繰入	地域部活動推進事業補助金		1,982		教育基金繰入金	1,400
			(参考)前々年度決算額							
目的・目標	急速に進行する少子化の影響により、所属人数の減少や希望種目の限定など中学校部活動を取り巻く環境が変容する中、持続可能で適切な中学校部活動の在り方を検討、協議するため、部活動検討委員会を設置し、休日における部活動の地域移行の実証を行う。		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
事業概要	■中学校部活動地域展開に向けた実証事業 3,470千円 ○事業概要 ・部活動検討委員会の設置及び運営 ・平日の学校部活動以外の休日(土・日)において、陸上(宮津中)、ソフトテニス(栗田中)、バレーボール(宮津中・栗田中)及びフリースポーツ(宮津中・栗田中)の競技について、市内スポーツ関係団体(スポーツ協会、地域学校協働活動関係、総合型スポーツクラブ)と連携して地域展開の実証事業を行う。 ・平日の動きを踏まえ、美術部(宮津中)の地域展開を行う。なお、生徒が専門的な指導を受けられるよう、地域の実態を踏まえ、全国的にもまだ例が少ない「オンライン」を活用した活動に取り組む。 ○対象経費:外部団体の活動支援経費(指導謝礼、委託料、スポーツ保険加入等) ○事業費 ・部活動検討委員会経費 169千円(委員報酬等) ・陸上、ソフトテニス、バレーボール 2,666千円(指導者謝金、保険料等) ・美術部(平日) 590千円(委託料、保険料等) ・フリースポーツ(宮津・栗田中) 45千円(会場使用料等)		施策分野	学校教育						
	【宮津市総合計画以外の計画】									
	R7	宮津市教育大綱・第3期教育基本振興計画		R8~R12						
	期待される効果等	・子ども達が多様な活動を体験できる機会の提供 ・将来にわたり、子ども達が活動を継続できる持続可能な仕組みの構築や環境の整備 ・教職員の働き方改革の推進 ・北部2市2町初の実証事業(文化部のオンライン指導)であり、北部地域の先駆的取組となる ・地域力の向上(地域人材との連携、協働を通して)								
	担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係		45-1641	206					
【参考】京都府下の取組状況(国の事業における府の指定) ・舞鶴市、福知山市、宇治田原町:運動部実証事業(R5~) ・精華町:文化部実証事業(R5~) ・R7時点:長岡京市(運動部)、宇治市(運動部)、八幡市(運動部・文化部)、京田辺(運動部・文化部)、宇治田原町(運動部)、精華町(運動部・文化部)、福知山市(運動部・										

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	スポーツ×観光(交流)のまちづくり (ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業・スポーツ振興事業・天橋立健康ウォーク 開催補助事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・H20.3:宮津市スポーツ振興計画策定 ・H30.12:第2期宮津市スポーツ推進計画策定 ・R4:(株)にしがきから企業版ふるさと納税による寄附(ジュニアスポーツ育成)を受け、宮津市ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業補助金制度を創設 ・R4.3:第3期宮津市スポーツ推進計画策定		7,832		1,500		2,652	3,680
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	「豊かな心と体が育まれるスポーツのまち」の実現を目指し、第3期宮津市スポーツ推進計画に掲げる「ライフステージに応じたスポーツの推進」「多様なスポーツを支える環境の充実」「まちに夢と元気を与える競技スポーツの推進」「スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進」の4つの基本目標に基づきスポーツ施策を推進する。		8,141	府	きょうと地域連携交付金			1,500
			(参考)前年度決算額	諸	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		
事業概要	■ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 1,397千円 ジュニアスポーツの育成・組織強化を図ることにより、まちの活力を生み出すとともにスポーツ観光を推進する。 ○ジュニアスポーツ育成のための団体支援 ジュニアスポーツ育成のために積極的に活動に取り組む団体の活動を支援。 ○京都サンガF.C.及び京都ハンナリーズホームタウン活動【充実】 京都サンガF.C.及び京都ハンナリーズとの連携により、子どもの頃からプロアスリートと触れ合う機会を創出し、競技力の向上を図るとともに、まちの元気づくりにつなげる。 ■スポーツ推進事業 5,080千円 「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を推進するため、各種スポーツ施策に取り組む。 ○ライフステージに応じたスポーツの推進 市民スポーツデー、各種スポーツ教室等の実施ほか ○多様なスポーツを支える環境の充実 スポーツ情報の発信、中学校部活動の地域展開に向けた取組への連携・協力ほか ○まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興 スポーツ協会への支援、全国大会等出場の激励ほか ○スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進 全国的・広域的なスポーツ大会の開催支援ほか ■天橋立健康ウォーク開催補助事業 1,355千円 健康づくりのシンボルイベント「天橋立ツーデーウォーク」の開催を支援する。		9,200		諸	スポーツ振興くじ助成金		1,352
			総計重要プロジェクト	—				
事業概要	テーマ別戦略 ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり 施策分野 文化・スポーツ振興		【宮津市総合計画以外の計画】					
			R4	第3期宮津市スポーツ推進計画			R5~R9	
事業概要	期待される効果等 ・スポーツを通じた健康づくりの推進 ・スポーツ観光の推進とスポーツ交流人口の増加 ・ジュニアスポーツの育成 ・スポーツ実施率の向上 ・競技力の向上 【第7次宮津市総合計画目標数値】 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 R3:39.7% → R9:50.0%		R7	宮津市教育大綱・第3期教育振興基本計画			R8~R12	
事業概要			担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係 45-1718 健康福祉部 健康・介護課 健康増進係 45-1624 教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係 45-1641 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係 45-1642			210~212	



事業名	重要文化的景観の保護と宮津地区における町並みの保存・活用 (重要文化的景観保護推進事業、文化財保護・活用推進事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H20.4 文化的景観保護推進事業を開始 H26.2 宮津市が「宮津・天橋立景観計画」策定 H26.3 天橋立及び府中地区が重要文化的景観に選定 H27.1 文珠地区が重要文化的景観に追加選定 R3.3 「文化的景観調査報告書〔宮津地区・補遺編〕」刊行 R6～ 旧三上家住宅の耐震診断調査を実施 (R7まで) R7.10 重要文化財旧三上家住宅保存活用計画策定検討委員会を設置 (R8年度まで)		23,699	12,152	266			11,281
	(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
	17,185	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金	12,152	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金	266	
目的・目標	令和5年度に文化庁の認定を受けた「宮津市文化財保存活用地域計画」に基づき、重点プロジェクトである「宮津地区における町並みの保存と活用」を推進する。宮津地区の重要文化的景観の追加選定を目指し、保存活用計画の策定や地域住民の機運醸成を図るとともに、重要文化財旧三上家住宅の整備に向け、保存活用計画、整備事業基本計画の策定を行う。	(参考)前々年度決算額	15,320					
		総計重要プロジェクト	—					
事業概要	■重要文化的景観の推進 14,936千円 (1) 宮津地区における保存計画の策定 1,186千円〔国50%、市50%〕 令和9年度の宮津地区の追加選定を目指して「保存活用計画」の作成を行うとともに、重要な構成要素(候補)の所有者や、市民を対象に普及啓発を進める。 (2) 重要な構成要素の整備(溝尻舟屋2件) 13,750千円〔国65% 8,937千円、市35% 4,813千円〕 重要な構成要素である溝尻舟屋の整備 ◎宮津地区追加選定の計画◎ 令和8年 保存計画策定、刊行 普及啓発、同意事務 令和9年 宮津地区の追加選定申出 宮津地区追加選定(告示)  ■文化財の保存・活用の推進 8,763千円 (1) 旧三上家住宅の整備と活用 7,734千円 保存活用計画の策定 4,034千円〔国庫65% 2,622千円〕 (R7～)重要文化財建造物の保存活用の方針「保存活用計画」の策定 整備事業基本計画の策定 3,700千円 重文建造物保存修理の基本設計、未指定建造物の保存修理や活用に関わる高付加価値化整備の基本設計、整備全体の年次計画等を策定。 (2) 文化財保存活用地域計画の推進等 1,029千円	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
		施策分野	文化財保存・活用					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
			H26	宮津・天橋立景観計画				
			R3	宮津市都市計画マスタープラン			R3～R12	
			R5	宮津市文化財保存活用地域計画			R6～R15	
期待される効果等	・宮津地区の歴史的価値の向上と保全 ・景観まちづくりの推進 ・重要文化財旧三上家住宅の整備計画の策定と保存・活用の推進 ・天橋立をめぐる往来や北前船によるまちづくりの推進 ・市民の誇りを涵養							
担当部署	教育委員会 社会教育課 社会教育係		45-1642	215・216				

会計名等	土地建物造成事業特別会計			設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施を行う									
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減
	歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減										
	歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減										
	1 事業収入（土地売払収入）	9,286	9,230	56	1 総務費	1	1	0						
	2 財産収入	2	2	0	2 事業費	530	530	0						
					3 公債費	100	500	△ 400						
				4 予備費	8,657	8,201	456							
合 計	9,288	9,232	56	合 計	9,288	9,232	56							
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■ 令和8年度の販売促進に向けた基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 補助金制度のPRの強化 令和8年度より、「つつじが丘団地新築支援」の対象者を子育て世帯から「全世帯」へ拡大し、多様な移住ニーズに対応するとともに、PRを継続し、販売促進に努める（工務店等への営業活動の継続など） ○ 情報発信の強化 「つつじが丘での暮らし」の発信や住宅情報サイトへの掲載継続などによる団地プロモーション等の実施 													
<p>備考 (特記事項)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販売価格の引き下げ 令和元年度（平成31年度）に不動産鑑定評価額に合わせて変更（1区画当たり平均39千円/㎡ ⇒ 22千円/㎡） ○ 補助制度の対象拡大 令和5年度に創設した子育て世帯向けの新築支援制度について、支援対象を子育て世帯に限らない制度へ（市保有地を購入し、新築した場合、最大200万円支援） ○ つつじが丘団地造成事業における残区画数：31区画（R8.1月時点） ※販売実績：R7年度 0区画（R8.1月末時点）、R6年度 1区画、R5年度 0区画、R4年度 0区画、R3年度 1区画、R2年度 0区画 													
<p>担当部署</p>	<p>企画財政部 移住定住・魅力発信課 移住定住促進係</p>				<p>TEL</p>	<p>45-1689</p>	<p>特 1</p>							



会計名等	国民健康保険事業特別会計				設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。						
予 算	歳 入		令和8年度	令和7年度	増 減	歳 出		令和8年度	令和7年度	増 減		
	1 国民健康保険税		350,595	349,555	1,040	1 総務費		38,563	44,823	△ 6,260		
	2 使用料及び手数料		160	170	△ 10	2 保険給付費		1,517,669	1,589,421	△ 71,752		
	3 国庫支出金		1,390	8,273	△ 6,883	(項)療養諸費		1,292,920	1,369,889	△ 76,969		
	4 府支出金		1,561,686	1,632,297	△ 70,611	3 国民健康保険事業費納付金		500,068	515,271	△ 15,203		
	(節)普通交付金		1,504,843	1,576,526	△ 71,683	4 保健事業費		38,653	50,950	△ 12,297		
	(節)特別交付金		56,843	55,771	1,072	5 基金積立金		605	133	472		
	5 財産収入		605	133	472	6 公債費		100	100	0		
	6 繰入金		178,813	206,312	△ 27,499	7 諸支出金		3,012	3,095	△ 83		
	(目)一般会計繰入金		153,690	182,834	△ 29,144	8 予備費		1,132	500	632		
	(目)基金繰入金		25,123	23,478	1,645							
	7 繰越金		2,000	3,000	△ 1,000							
	8 諸収入		4,553	4,553	0							
合 計		2,099,802	2,204,293	△ 104,491	合 計		2,099,802	2,204,293	△ 104,491			
予算概要 (予算の特徴)	<p>■ 1人当たりの医療費の増加見込み、子ども・子育て支援納付金の徴収開始等により、京都府により示された標準保険税率が増加したことから、国民健康保険事業基金の一部を繰り入れ、保険税額の急激な増額抑制を図るとともに、適切な国保事業の運営を図る。</p> <p>○ 歳入においては、税率の増額改定により、国民健康保険税は0.3%増、被保険者数の減少による保険給付費の減により府支出金は4.3%減。</p> <p>○ 歳出においては、被保険者数は減により、保険給付費は4.5%減。</p> <p>○ 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画(R5年度策定)に基づき、特定健診及び特定保健指導などの保健事業を推進。</p>											
備 考 (特記事項)		H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7当初	R8当初	
	1人当たり保険税(円)	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	89,137	87,146	97,414	102,136	108,901	(+6.6%)
	1人当たり医療費(円)	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	400,389	425,082	452,934	530,081	535,946	(+1.1%)
	被保険者数(平均)(人)	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,343	4,053	3,745	3,450	3,221	(△6.6%)
	国保事業基金残高(千円)※R7. R8は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	171,198	152,199	144,304	109,406	96,441	(△12.965%)
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係							TEL	45-1616		特 2	



令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

<p>会計名等</p>	<p>後期高齢者医療特別会計</p>			<p>設置目的</p>	<p>原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。</p>																																																														
<p>予 算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td>340,686</td> <td>324,687</td> <td>15,999</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 国庫補助金</td> <td>0</td> <td>1,215</td> <td>△ 1,215</td> </tr> <tr> <td>4 繰入金</td> <td>117,012</td> <td>116,162</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>5 繰越金</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6 諸収入</td> <td>1,155</td> <td>654</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>459,363</td> <td>443,228</td> <td>16,135</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減	1 保険料	340,686	324,687	15,999	2 使用料及び手数料	10	10	0	3 国庫補助金	0	1,215	△ 1,215	4 繰入金	117,012	116,162	850	5 繰越金	500	500	0	6 諸収入	1,155	654	501	合 計	459,363	443,228	16,135	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>3,960</td> <td>4,192</td> <td>△ 232</td> </tr> <tr> <td>2 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td>450,307</td> <td>434,441</td> <td>15,866</td> </tr> <tr> <td>3 保健事業費</td> <td>3,585</td> <td>3,585</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4 諸支出金</td> <td>1,000</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>5 予備費</td> <td>511</td> <td>510</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>459,363</td> <td>443,228</td> <td>16,135</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減	1 総務費	3,960	4,192	△ 232	2 後期高齢者医療広域連合納付金	450,307	434,441	15,866	3 保健事業費	3,585	3,585	0	4 諸支出金	1,000	500	500	5 予備費	511	510	1	合 計	459,363	443,228	16,135
歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減																																																																
1 保険料	340,686	324,687	15,999																																																																
2 使用料及び手数料	10	10	0																																																																
3 国庫補助金	0	1,215	△ 1,215																																																																
4 繰入金	117,012	116,162	850																																																																
5 繰越金	500	500	0																																																																
6 諸収入	1,155	654	501																																																																
合 計	459,363	443,228	16,135																																																																
歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減																																																																
1 総務費	3,960	4,192	△ 232																																																																
2 後期高齢者医療広域連合納付金	450,307	434,441	15,866																																																																
3 保健事業費	3,585	3,585	0																																																																
4 諸支出金	1,000	500	500																																																																
5 予備費	511	510	1																																																																
合 計	459,363	443,228	16,135																																																																
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収及び保健事業の実施など適切な運営を図る。 ○歳入においては、子ども・子育て支援金制度の施行や1人当たりの医療給付費の増加等による保険料率の増額改定等により保険料は4.9%の増。 ○歳出においては、保険料率の増額改定等に伴う保険料等負担金（徴収する保険料）の増加により、後期高齢者医療広域連合納付金は3.7%増。</p>																																																																		
<p>備 考 (特記事項)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6 決算</th> <th>R 7 当初</th> <th>R 8 当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津市の平均被保険者数</td> <td>4,321人</td> <td>4,336人 (+0.3%)</td> <td>4,335人 (-0.0%)</td> </tr> <tr> <td>現年度保険料総額</td> <td>305,631千円</td> <td>324,396千円</td> <td>339,840千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの保険料</td> <td>70,732円</td> <td>74,815円</td> <td>78,394円</td> </tr> <tr> <td>[参考:府全体被保険者数]</td> <td>425,330人</td> <td>440,130人 (+3.5%)</td> <td>442,549人 (+0.5%)</td> </tr> <tr> <td>府全体の1人当たり保険料(隔年改定)</td> <td colspan="2">93,158円</td> <td>101,671円</td> </tr> </tbody> </table>				R 6 決算	R 7 当初	R 8 当初	宮津市の平均被保険者数	4,321人	4,336人 (+0.3%)	4,335人 (-0.0%)	現年度保険料総額	305,631千円	324,396千円	339,840千円	1人当たりの保険料	70,732円	74,815円	78,394円	[参考:府全体被保険者数]	425,330人	440,130人 (+3.5%)	442,549人 (+0.5%)	府全体の1人当たり保険料(隔年改定)	93,158円		101,671円																																								
	R 6 決算	R 7 当初	R 8 当初																																																																
宮津市の平均被保険者数	4,321人	4,336人 (+0.3%)	4,335人 (-0.0%)																																																																
現年度保険料総額	305,631千円	324,396千円	339,840千円																																																																
1人当たりの保険料	70,732円	74,815円	78,394円																																																																
[参考:府全体被保険者数]	425,330人	440,130人 (+3.5%)	442,549人 (+0.5%)																																																																
府全体の1人当たり保険料(隔年改定)	93,158円		101,671円																																																																
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>				<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特 3</p>																																																												

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。										
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>				歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減
	歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減											
	歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減											
	1 保険料			481,505	479,848	1,657	1 総務費			81,816	84,761	△ 2,945			
	2 使用料及び手数料			21	20	1	2 保険給付費			2,609,983	2,609,586	397			
	3 国庫支出金			729,681	729,872	△ 191	(項)介護サービス等諸費			2,387,673	2,378,211	9,462			
	4 支払基金交付金			734,865	731,967	2,898	(項)介護予防サービス等諸費			75,716	76,289	△ 573			
	5 府支出金			421,000	421,328	△ 328	3 地域支援事業費			188,951	176,303	12,648			
	6 財産収入			1,093	313	780	(項)介護予防・生活支援サービス事業費			110,466	100,117	10,349			
	7 繰入金			519,222	520,049	△ 827	(項)一般介護予防事業費			1,012	1,024	△ 12			
	(項)一般会計繰入金			463,222	465,049	△ 1,827	(項)包括的支援事業・任意事業費			77,208	74,897	2,311			
	(項)基金繰入金			56,000	55,000	1,000	4 基金積立金			1,093	313	780			
	8 繰越金			1	1	0	5 公債費			100	100	0			
	9 諸収入			6	6	0	6 諸支出金			2,103	2,103	0			
合 計			2,887,394	2,883,404	3,990	7 予備費			3,348	10,238	△ 6,890				
合 計			2,887,394	2,883,404	3,990	合 計			2,887,394	2,883,404	3,990				
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料 第9期(令和6年度～令和8年度)基準月額6,147円 前期比7.9%減、保険料軽減(対象:所得区分第1～3段階まで)継続実施。 ・保険給付費 居宅介護サービス給付費の増、施設介護サービス給付費の減等により、ほぼ前年度並。 ・地域支援事業費 介護予防・生活支援サービス事業費の増等により、対前年度比7.2%増。 ・総務費 総務管理費の減により、対前年度比3.5%減。 														
備考 (特記事項)		第1号被保険者数	要介護等認定者数 (1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率									
	R7.12月末	6,947人	1,872人(要支援673人、要介護1,199人)	26.9%	13人	44.7%									
	R6.12月末	7,012人	1,855人(要支援661人、要介護1,194人)	26.5%	13人	44.2%									
	増減	△65人 (△0.9%)	+17人 (+0.9%)	+0.4%	±0人	+0.5%									
	【地域支援事業】 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型・通所型サービス、一般介護予防事業など)の実施 地域包括ケアシステム(在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備など)の推進 認知症施策(認知症初期集中支援チームによる支援、認知症カフェの運営など)の推進 成年後見支援センターの運営														
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係							TEL	45-1619・45-1676 45-1620	特 4					

令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	介護予防支援事業特別会計			設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。																																										
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 サービス収入</td> <td>11,591</td> <td>12,168</td> <td>△ 577</td> </tr> <tr> <td>2 繰越金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 諸収入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11,593</td> <td>12,170</td> <td>△ 577</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減	1 サービス収入	11,591	12,168	△ 577	2 繰越金	1	1	0	3 諸収入	1	1	0	合 計	11,593	12,170	△ 577	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>2,003</td> <td>2,062</td> <td>△ 59</td> </tr> <tr> <td>2 事業費</td> <td>9,474</td> <td>9,978</td> <td>△ 504</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>116</td> <td>130</td> <td>△ 14</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11,593</td> <td>12,170</td> <td>△ 577</td> </tr> </tbody> </table>			歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減	1 総務費	2,003	2,062	△ 59	2 事業費	9,474	9,978	△ 504	3 予備費	116	130	△ 14	合 計	11,593	12,170	△ 577	
	歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減																																											
	1 サービス収入	11,591	12,168	△ 577																																											
	2 繰越金	1	1	0																																											
	3 諸収入	1	1	0																																											
合 計	11,593	12,170	△ 577																																												
歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減																																												
1 総務費	2,003	2,062	△ 59																																												
2 事業費	9,474	9,978	△ 504																																												
3 予備費	116	130	△ 14																																												
合 計	11,593	12,170	△ 577																																												
予算概要 (予算の特徴)	介護予防サービス利用者やそのケアプラン作成数は減少を見込んでおり、介護予防サービス計画費収入も減少を見込む。																																														
備 考 (特記事項)	[介護予防ケアプラン作成数(年間)]				[参考: 令和7年12月末現在]																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R8見込</th> <th>R7当初</th> <th>R6実績</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部圏域 (宮津市包括支援センター)</td> <td>2,581件</td> <td>2,707件</td> <td>2,577件</td> <td>2,449件</td> </tr> <tr> <td>北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)</td> <td>970件</td> <td>1,014件</td> <td>1,019件</td> <td>984件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,551件</td> <td>3,721件</td> <td>3,596件</td> <td>3,433件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R8見込	R7当初	R6実績	R5実績	南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,581件	2,707件	2,577件	2,449件	北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	970件	1,014件	1,019件	984件	計	3,551件	3,721件	3,596件	3,433件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象月</th> <th>要支援認定者数</th> <th>要介護認定者数</th> <th>市人口</th> <th>65歳以上人口</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7.12末</td> <td>673人</td> <td>1,199人</td> <td>15,629人</td> <td>6,993人</td> <td>44.7%</td> </tr> <tr> <td>R6.12末</td> <td>661人</td> <td>1,194人</td> <td>15,966人</td> <td>7,064人</td> <td>44.2%</td> </tr> </tbody> </table>						対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率	R7.12末	673人	1,199人	15,629人	6,993人	44.7%	R6.12末	661人	1,194人	15,966人	7,064人
区分	R8見込	R7当初	R6実績	R5実績																																											
南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,581件	2,707件	2,577件	2,449件																																											
北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	970件	1,014件	1,019件	984件																																											
計	3,551件	3,721件	3,596件	3,433件																																											
対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率																																										
R7.12末	673人	1,199人	15,629人	6,993人	44.7%																																										
R6.12末	661人	1,194人	15,966人	7,064人	44.2%																																										
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係				TEL	45-1620		特 5																																							



会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																													
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td>9,405</td> <td>9,876</td> <td>△ 471</td> </tr> <tr> <td>2 材料及び手数料(証明手数料)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>4,586</td> <td>5,299</td> <td>△ 713</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td>6,217</td> <td>7,549</td> <td>△ 1,332</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>20,909</td> <td>23,425</td> <td>△ 2,516</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減	1 診療収入	9,405	9,876	△ 471	2 材料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	3 繰入金	4,586	5,299	△ 713	4 繰越金	700	700	0	5 諸収入(2町分担金)	6,217	7,549	△ 1,332	合 計	20,909	23,425	△ 2,516	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td>20,345</td> <td>20,386</td> <td>△ 41</td> </tr> <tr> <td> 管理医師報酬等</td> <td>-</td> <td>1,595</td> <td>△ 18</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所管理運営事業</td> <td>3,193</td> <td>1,616</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 出務医師報酬</td> <td>-</td> <td>7,397</td> <td>△ 23</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所診療事業</td> <td>17,152</td> <td>9,778</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td>64</td> <td>2,539</td> <td>△ 2,475</td> </tr> <tr> <td> 市債償還元金</td> <td>0</td> <td>2,474</td> <td>△ 2,474</td> </tr> <tr> <td> 市債利子</td> <td>63</td> <td>64</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td> 一時借入金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>20,909</td> <td>23,425</td> <td>△ 2,516</td> </tr> </tbody> </table>			歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減	1 休日応急診療所費	20,345	20,386	△ 41	管理医師報酬等	-	1,595	△ 18	休日応急診療所管理運営事業	3,193	1,616		出務医師報酬	-	7,397	△ 23	休日応急診療所診療事業	17,152	9,778		2 公債費	64	2,539	△ 2,475	市債償還元金	0	2,474	△ 2,474	市債利子	63	64	△ 1	一時借入金	1	1	0	3 予備費	500	500	0	合 計	20,909	23,425	△ 2,516
	歳 入	令和8年度	令和7年度	増 減																																																																														
1 診療収入	9,405	9,876	△ 471																																																																															
2 材料及び手数料(証明手数料)	1	1	0																																																																															
3 繰入金	4,586	5,299	△ 713																																																																															
4 繰越金	700	700	0																																																																															
5 諸収入(2町分担金)	6,217	7,549	△ 1,332																																																																															
合 計	20,909	23,425	△ 2,516																																																																															
歳 出	令和8年度	令和7年度	増 減																																																																															
1 休日応急診療所費	20,345	20,386	△ 41																																																																															
管理医師報酬等	-	1,595	△ 18																																																																															
休日応急診療所管理運営事業	3,193	1,616																																																																																
出務医師報酬	-	7,397	△ 23																																																																															
休日応急診療所診療事業	17,152	9,778																																																																																
2 公債費	64	2,539	△ 2,475																																																																															
市債償還元金	0	2,474	△ 2,474																																																																															
市債利子	63	64	△ 1																																																																															
一時借入金	1	1	0																																																																															
3 予備費	500	500	0																																																																															
合 計	20,909	23,425	△ 2,516																																																																															
<p>※ 管理医師報酬等は休日応急診療所管理運営事業に、出務医師報酬は休日応急診療所診療事業に統合。</p>																																																																																		
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科目…内科、小児科 ・診療医師…一般社団法人与謝医師会に委託(18名の医師が輪番出務) ・看護師…非常勤職員6名(2名ずつ出務) ・医事事務…民間事業者に委託 ・診療日…日曜日、祝日、年末年始(年間72日) ※令和7年度72日 																																																																																	
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年6月から診療開始。休日応急診療所整備に係る起債償還期間は令和7年度で終了。 ・休日応急診療所事業費分担金内訳 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宮津市</td> <td style="padding-left: 10px;">整備関係分</td> <td style="padding-left: 10px;">51,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">+</td> <td style="padding-left: 10px;">運営費分</td> <td style="padding-left: 10px;">4,535,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">=</td> <td style="padding-left: 10px;">4,586,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">伊根町</td> <td style="padding-left: 10px;">整備関係分</td> <td style="padding-left: 10px;">2,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">+</td> <td style="padding-left: 10px;">運営費分</td> <td style="padding-left: 10px;">839,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">=</td> <td style="padding-left: 10px;">841,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">与謝野町</td> <td style="padding-left: 10px;">整備関係分</td> <td style="padding-left: 10px;">10,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">+</td> <td style="padding-left: 10px;">運営費分</td> <td style="padding-left: 10px;">5,366,000円</td> <td style="padding-left: 10px;">=</td> <td style="padding-left: 10px;">5,376,000円</td> </tr> </table> ・休日応急診療所空調整備に係る起債・償還の状況 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借入額</td> <td style="padding-left: 10px;">2,100,000円(令和8年5月借入予定)</td> <td style="padding-left: 10px;">、</td> <td style="padding-left: 10px;">利率</td> <td style="padding-left: 10px;">3.0%(見込)</td> <td style="padding-left: 10px;">、</td> <td style="padding-left: 10px;">償還期間</td> <td style="padding-left: 10px;">令和19年度まで12ヶ年</td> </tr> </table> 									宮津市	整備関係分	51,000円	+	運営費分	4,535,000円	=	4,586,000円	伊根町	整備関係分	2,000円	+	運営費分	839,000円	=	841,000円	与謝野町	整備関係分	10,000円	+	運営費分	5,366,000円	=	5,376,000円	借入額	2,100,000円(令和8年5月借入予定)	、	利率	3.0%(見込)	、	償還期間	令和19年度まで12ヶ年																																									
宮津市	整備関係分	51,000円	+	運営費分	4,535,000円	=	4,586,000円																																																																											
伊根町	整備関係分	2,000円	+	運営費分	839,000円	=	841,000円																																																																											
与謝野町	整備関係分	10,000円	+	運営費分	5,366,000円	=	5,376,000円																																																																											
借入額	2,100,000円(令和8年5月借入予定)	、	利率	3.0%(見込)	、	償還期間	令和19年度まで12ヶ年																																																																											
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係				TEL	45-1624	特 6																																																																											



令和8年3月定例会

令和8年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	財産区特別会計			設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。							
予 算	財 産 区	予 算 規 模			主 な 歳 入				主 な 歳 出			
		令和8年度	令和7年度	増 減	款名	令和8年度	令和7年度	増 減	款名	令和8年度	令和7年度	増 減
	上宮津財産区	9,852	4,938	4,914	財産収入	4,033	3,719	314	総務費	7,994	4,294	3,700
	由良財産区	592	292	300	財産収入	91	91	0	総務費	64	64	0
	栗田財産区	1,950	2,249	△ 299	財産収入	249	248	1	総務費	323	1,322	△ 999
	吉津財産区	5,297	5,020	277	財産収入	600	623	△ 23	総務費	2,381	2,469	△ 88
					諸収入	397	397	0	造林事業費	623	623	0
	世屋財産区	382	152	230	財産収入	81	81	0	総務費	88	88	0
	養老財産区	998	998	0	財産収入	197	197	0	総務費	468	468	0
	日ヶ谷財産区	433	253	180	財産収入	32	52	△ 20	総務費	36	57	△ 21
計	19,504	13,902	5,602									
予算概要 (予算の特徴)	<p><上宮津財産区> 令和7年度決算余剰金見込み約5,600千円、その繰越金を活用し、4,000千円の基金への原資積立を行うもの。 <吉津財産区> 令和7年度決算余剰金見込み約4,300千円、その繰越金を活用し、2,000千円の基金への原資積立を行うもの。 直営林造林地の保育施業(下草刈り及び雪起し)を引続き実施。</p>											
備 考 (特記事項)												
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係								TEL	45-1627	特7	

会計名等	水道事業会計			設置目的	安全でおいしい水を供給する					
予 算	収益的収入(税込) A		令和8年度	令和7年度	比較	収益的支出(税込) B		令和8年度	令和7年度	比較
	1 営業収益		606,618	583,843	22,775	1 営業費用		651,870	670,660	△ 18,790
	給水収益		605,912	582,303	23,609	配水及び給水費		64,445	82,549	△ 18,104
	2 営業外収益		172,247	170,338	1,909	減価償却費		291,495	275,235	16,260
	他会計補助金		17,797	17,680	117	資産減耗費		1,345	20,129	△ 18,784
	国庫補助金		0	4,290	△ 4,290	2 営業外費用		46,433	43,962	2,471
	長期前受金戻入		69,638	67,934	1,704	支払利息		45,381	42,807	2,574
	資本費繰入収益		56,796	59,291	△ 2,495	3 特別損失		2	2	0
	3 特別利益		2	2	0	4 予備費		6,000	6,000	0
	合 計		778,867	754,183	24,684	合 計		704,305	720,624	△ 16,319
	資本的収入(税込) C		令和8年度	令和7年度	比較	資本的支出(税込) D		令和8年度	令和7年度	比較
	1 企業債		471,000	376,000	95,000	1 建設改良費		560,437	457,564	102,873
	2 加入負担金		3,000	3,300	△ 300	拡張改良費		115,175	57,830	57,345
	3 出資金		1,096	1,096	0	浄水場整備費		435,238	383,394	51,844
4 国庫補助金		60,000	46,844	13,156	2 企業債償還金		224,482	228,698	△ 4,216	
5 その他		0	528	△ 528	3 その他・予備費		1,195	1,000	195	
合 計		535,096	427,768	107,328	合 計		786,114	687,262	98,852	
		令和8年度	令和7年度	比較						
収益的収支差引 A-B		74,562	33,559	41,003						
資本的収支差引 C-D		△ 251,018	△ 259,494	8,476						
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入:水道使用料金は前年度比23,609千円の増となる605,912千円、総額で前年度比24,684千円の増となる778,867千円 支出:AIを活用した漏水調査の結果による二次調査の実施、減価償却費、支払利息等の増はあるものの、配水及び給水費、資産減耗費等の減により前年度比16,319千円の減となる704,305千円 収支差引額は74,562千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 上宮津浄水場大規模改修やIoTを活用した遠隔監視・遠隔操作システム整備の継続、広域型官民連携手法導入可能性調査業務、由良浄水場の第3水源代替工事により、収支差引額は251,018千円の不足</p>									
備考	<p>○上宮津浄水場大規模改修に係る債務負担行為の再設定 450,000千円(期間:令和8年~令和10年の3年間) ○水道料金システム更新に係る債務負担行為の設定 35,000千円(期間:令和8年~令和10年の3年間)</p>									
担当部署	建設部 上下水道課 管理係							TEL	45-1635	特8



事業名	京都府北部圏域広域型官民連携検討事業（水道事業会計）	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	企業債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.4：「京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会」が設置 ・H30.8：北部圏域において、「市町村水道事業連絡会議」を立上げ ・H30.11：京都府全域の方向性を示した「京都水道グランドデザイン」を策定 ・R3.3：「第2期京都府北部地域連携都市圏ビジョン」において、水道事業の広域連携・広域化事業を位置づけ ・R5.3：「京都水道グランドデザイン」改定、広域化に関する記載を充実 		13,000			13,000		0	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			0	企業債	水道事業債			13,000	
			(参考)前々年度決算額						
目的・目標	将来にわたり水道サービスを持続安定的に供給していくため、北部圏域において、官民連携手法が導入可能であるかを調査し、最適な手法を検討をする。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	—					
事業概要	<p>■京都府北部圏域広域型官民連携手法導入可能性調査業務 13,000千円</p> <p>○京都府北部圏域の水道事業者においては、職員数の減少、施設の老朽化、人口減少に伴う使用料収入の減少などの共通課題に直面する中、水道事業の執行体制の確保と効率的な運営を図り、持続可能な水道事業を実現するため、官民連携手法の導入の可能性について、北部7市町共同で検討を行うもの ※北部圏域水道事業者【舞鶴市・福知山市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町・京都府(工業用水道事業)】</p> <p>京都府北部圏域広域型官民連携検討事業<導入可能性調査></p> <p>令和7年度 step1 <現状分析・課題洗い出し> [京都府] 令和8年度 step2 <対応方策と業務分類の検討> [共同発注] 令和8年度 step3 <PPP/PFI手法の比較検討> [共同発注] 令和8年度 step4 <PPP/PFI手法の選定> [共同発注] 令和9年度 令和9年3月</p> <p>導入調査の結果を踏まえ、宮津市としての意思決定を行う(北部7市町も同様)</p>		施策分野	社会基盤・防災減災					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R1	宮津市水道事業ビジョン				R1～	
			R5	京都水道グランドデザイン					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な連携によるスケールメリットの発揮とコスト縮減 ・民間の技術力やノウハウの活用による、施設管理の効率化の検討 ・将来の職員数の減少を見据えた安定的な事業執行体制の確保の検討 								
担当部署	建設部 上下水道課 管理係・施設整備係・浄水係			45-1635	特8-1				



会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>347,621</td> <td>347,718</td> <td>△ 97</td> </tr> <tr> <td> 下水道使用料</td> <td>347,227</td> <td>347,336</td> <td>△ 109</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>608,536</td> <td>610,723</td> <td>△ 2,187</td> </tr> <tr> <td> 他会計補助金</td> <td>405,180</td> <td>409,205</td> <td>△ 4,025</td> </tr> <tr> <td> 国庫補助金</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 長期前受金戻入</td> <td>199,466</td> <td>197,741</td> <td>1,725</td> </tr> <tr> <td> 資本費繰入収益</td> <td>1,041</td> <td>1,144</td> <td>△ 103</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>956,159</td> <td>958,443</td> <td>△ 2,284</td> </tr> </tbody> </table>			収益的収入(税込) A	令和8年度	令和7年度	比較	1 営業収益	347,621	347,718	△ 97	下水道使用料	347,227	347,336	△ 109	2 営業外収益	608,536	610,723	△ 2,187	他会計補助金	405,180	409,205	△ 4,025	国庫補助金	2,500	2,500	0	長期前受金戻入	199,466	197,741	1,725	資本費繰入収益	1,041	1,144	△ 103	3 特別利益	2	2	0	合 計	956,159	958,443	△ 2,284	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>816,162</td> <td>817,059</td> <td>△ 897</td> </tr> <tr> <td> 管渠費</td> <td>15,683</td> <td>15,315</td> <td>368</td> </tr> <tr> <td> ポンプ場費</td> <td>20,225</td> <td>19,609</td> <td>616</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道維持管理費</td> <td>300,962</td> <td>301,759</td> <td>△ 797</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>443,657</td> <td>446,470</td> <td>△ 2,813</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>76,173</td> <td>76,775</td> <td>△ 602</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>68,503</td> <td>70,705</td> <td>△ 2,202</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失・予備費</td> <td>6,002</td> <td>6,002</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>898,337</td> <td>899,836</td> <td>△ 1,499</td> </tr> </tbody> </table>			収益的支出(税込) B	令和8年度	令和7年度	比較	1 営業費用	816,162	817,059	△ 897	管渠費	15,683	15,315	368	ポンプ場費	20,225	19,609	616	流域下水道維持管理費	300,962	301,759	△ 797	減価償却費	443,657	446,470	△ 2,813	2 営業外費用	76,173	76,775	△ 602	支払利息	68,503	70,705	△ 2,202	3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0	合 計	898,337	899,836	△ 1,499
	収益的収入(税込) A	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																		
	1 営業収益	347,621	347,718	△ 97																																																																																		
	下水道使用料	347,227	347,336	△ 109																																																																																		
	2 営業外収益	608,536	610,723	△ 2,187																																																																																		
	他会計補助金	405,180	409,205	△ 4,025																																																																																		
	国庫補助金	2,500	2,500	0																																																																																		
	長期前受金戻入	199,466	197,741	1,725																																																																																		
	資本費繰入収益	1,041	1,144	△ 103																																																																																		
	3 特別利益	2	2	0																																																																																		
	合 計	956,159	958,443	△ 2,284																																																																																		
	収益的支出(税込) B	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																		
	1 営業費用	816,162	817,059	△ 897																																																																																		
	管渠費	15,683	15,315	368																																																																																		
ポンプ場費	20,225	19,609	616																																																																																			
流域下水道維持管理費	300,962	301,759	△ 797																																																																																			
減価償却費	443,657	446,470	△ 2,813																																																																																			
2 営業外費用	76,173	76,775	△ 602																																																																																			
支払利息	68,503	70,705	△ 2,202																																																																																			
3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0																																																																																			
合 計	898,337	899,836	△ 1,499																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>198,300</td> <td>218,200</td> <td>△ 19,900</td> </tr> <tr> <td>2 負担金</td> <td>7,430</td> <td>7,285</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>3 補助金</td> <td>157,643</td> <td>147,713</td> <td>9,930</td> </tr> <tr> <td> 国庫補助金</td> <td>5,750</td> <td>0</td> <td>5,750</td> </tr> <tr> <td> 他会計補助金</td> <td>151,893</td> <td>147,713</td> <td>4,180</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>363,373</td> <td>373,198</td> <td>△ 9,825</td> </tr> </tbody> </table>			資本的収入(税込) C	令和8年度	令和7年度	比較	1 企業債	198,300	218,200	△ 19,900	2 負担金	7,430	7,285	145	3 補助金	157,643	147,713	9,930	国庫補助金	5,750	0	5,750	他会計補助金	151,893	147,713	4,180	合 計	363,373	373,198	△ 9,825	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>105,705</td> <td>79,785</td> <td>25,920</td> </tr> <tr> <td> 公共下水道費</td> <td>46,820</td> <td>21,130</td> <td>25,690</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道費</td> <td>58,885</td> <td>58,655</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金・他会計借入金償還金</td> <td>630,618</td> <td>648,523</td> <td>△ 17,905</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>737,323</td> <td>729,308</td> <td>8,015</td> </tr> </tbody> </table>			資本的支出(税込) D	令和8年度	令和7年度	比較	1 建設改良費	105,705	79,785	25,920	公共下水道費	46,820	21,130	25,690	流域下水道費	58,885	58,655	230	2 企業債償還金・他会計借入金償還金	630,618	648,523	△ 17,905	3 予備費	1,000	1,000	0	合 計	737,323	729,308	8,015																									
資本的収入(税込) C	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																			
1 企業債	198,300	218,200	△ 19,900																																																																																			
2 負担金	7,430	7,285	145																																																																																			
3 補助金	157,643	147,713	9,930																																																																																			
国庫補助金	5,750	0	5,750																																																																																			
他会計補助金	151,893	147,713	4,180																																																																																			
合 計	363,373	373,198	△ 9,825																																																																																			
資本的支出(税込) D	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																			
1 建設改良費	105,705	79,785	25,920																																																																																			
公共下水道費	46,820	21,130	25,690																																																																																			
流域下水道費	58,885	58,655	230																																																																																			
2 企業債償還金・他会計借入金償還金	630,618	648,523	△ 17,905																																																																																			
3 予備費	1,000	1,000	0																																																																																			
合 計	737,323	729,308	8,015																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>57,822</td> <td>58,607</td> <td>△ 785</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 373,950</td> <td>△ 356,110</td> <td>△ 17,840</td> </tr> </tbody> </table>				令和8年度	令和7年度	比較	収益的収支差引 A-B	57,822	58,607	△ 785	資本的収支差引 C-D	△ 373,950	△ 356,110	△ 17,840	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本費平準化債(利子分)</th> <th>令和8年度</th> <th>令和7年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>37,600</td> <td>42,200</td> <td>△ 4,600</td> </tr> </tbody> </table>			資本費平準化債(利子分)	令和8年度	令和7年度	比較		37,600	42,200	△ 4,600																																																													
	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																			
収益的収支差引 A-B	57,822	58,607	△ 785																																																																																			
資本的収支差引 C-D	△ 373,950	△ 356,110	△ 17,840																																																																																			
資本費平準化債(利子分)	令和8年度	令和7年度	比較																																																																																			
	37,600	42,200	△ 4,600																																																																																			
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入：下水道使用料は前年度比で109千円の減となる347,227千円、総額で前年度比2,284千円の減となる956,159千円 支出：流域下水道維持管理費や減価償却費、支払利息の減等により、総額で前年度比1,499千円の減となる898,337千円 収支差引額は、57,822千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 府中第1処理分区分管渠整備工事、公共下水道ストックマネジメント計画策定(中間見直し)及び下水道事業経営戦略策定(改定)に係る委託料等により、収支差引額は、373,950千円の不足</p>																																																																																					
備考																																																																																						
担当部署	建設部 上下水道課 管理係	TEL	45-1635	特9																																																																																		

